

タイハツ純正

NMCK-W65D/ NMCK-D65D AV Navigation System



発売元

タイハツ工業株式会社

NMCK-W65D (08545-K9100) NMCK-D65D (08545-K9102)

AV Navigation System
取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

タイハツ工業株式会社



目次



はじめに

こんなことができます	6
ナビを便利に使う！	6
AVを楽しむ！	7
安全上のご注意	8
絵表示による注意	8
使用上のご注意	11
安全走行のために	11
本機の異常にお気づきのときは	11
本機のお手入れについて	11
フィルムアンテナのお手入れ	11
モニター画面について	11
ナビゲーションについて	11
カーナビゲーションに関わる	
個人情報について	12
本機にメモリーされた個人情報について	12
本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて	12
本書の読みかた	13
本書の構成	13
本書の表記	13
電源を入れる/切る	14
電源オン	14
電源オフ	14
暗証番号を設定/変更する	15
暗証番号を設定する	15
暗証番号を変更/解除する	16
画面の時計表示について	17



基本操作

各部の名称とはたらき	18
《NMCK-W65D》	18
《NMCK-D65D》	20
画面の切り替えかた	22
画面の操作について	24
画面のオン/オフ	25
フロントパネルの角度を調整する	25



カーナビ

現在の場所の地図を表示する	26
地図の向きと表示方法を変える	27
地図の縮尺を変える	28
スクロールして地図を表示する	29
スクロールした地点の情報を見る	30
ランドマークの情報を表示する	31
地図画面のショートカットボタンを使う	32
AVソース画面を地図画面に表示する	33
クイックメニューを使う	33
地図の表示を設定する	34
地図の色を設定する	35
ランドマークの表示を設定する	35
登録地点の表示を設定する	36
現在地を修正する	37
エコドライブのアドバイス	38
エコ情報を表示する	38
ECOメニューを表示する	39
地点検索	40
自宅を登録する	40
自宅に帰る	40
目的地検索メニューを表示する	41
目的地検索メニューから探す	42
名称から探す	42
住所から探す	44
ジャンルから探す	45
地点の周辺施設を探す	46
電話番号/郵便番号/マップコードで探す	47
登録地点から探す	48
検索履歴から探す	48
まっさらコードで探す	50
マップクリップを利用する	51

ルート探索と案内開始	52
ルートを探索して案内を開始する	52
利用するインターチェンジを指定する	53
探索方法を設定する	55
目的地付近の地図を表示する	56
ルート全体を表示する	56
シミュレーションでルートを見る	57
現在地からのルートを探索しなおす	58
案内を終了する	58
ナビの音量を調整する	59
ルートから外れたときは	59
ルート案内中の地図	60
一般道でのルート案内	60
高速道路でのルート案内	61
案内ポイントでの案内表示	62
案内ポイント付近での音声案内	64
案内方法を設定する	65
ルート編集	66
行き先の順番を変える	66
行き先を削除する	67
地点登録	68
地点登録する	68
登録地点の情報を見る	69
登録地点を編集する	70
名前をつける	71
電話番号を設定する	71
登録地点のカテゴリーを変更する	72
登録地点のカテゴリー名を変更する	72
登録地点を削除する	74
文字の入力	75
VICS情報を見る	76
VICS情報とは	76
地図に表示されるVICS情報	77
VICS情報の表示方法を設定する	78
VICS图形/文字情報を表示する	79
FM VICS局の選局方法を切り替える	80

目次



AV

ソース切り替え.....	82
ソース切り替え画面を表示する	82
ラジオ	83
ラジオを聞く・操作する.....	83
放送局をプリセットする.....	84
リストから放送局を選局する.....	85
交通情報を受信する.....	85
ワンセグ	86
ワンセグとは	86
ワンセグを見る	86
ワンセグを操作する.....	87
放送情報表示について.....	88
放送局をプリセットする.....	88
リストから放送局を選局する	89
ディスク	90
ディスクを出し入れする.....	90
音楽CDを再生する	91
オーディオファイルディスクを 再生する.....	92
再生するファイルをリストで 選択する.....	93
USB/SD.....	94
USB機器を接続する/外す.....	94
SDカードを出し入れする.....	95
オーディオファイルを再生する	96
再生するファイルをリストで 選択する.....	97
iPod.....	98
iPodを接続する/外す	98
iPodを再生する	99
再生する曲またはビデオをリストで選択する	100
画質を調整する	102
画面表示サイズを変更する	102
サウンド設定	104
サウンドを設定する.....	104
バランス/フェーダーを設定する	104
カータイプを設定する.....	105
スピーカー構成を設定する	105
リスニングポジションを設定する	107
プリセットイコライザーを設定する.....	109
ソースの音量バランスをそろえる	110
オーディオ効果を設定する	111



システム設定

システムを設定する	112
ステアリングスイッチを設定する.....	114
割り当てを変更する.....	115
割り当てを初期化する.....	116
ユーザー設定の初期化.....	117
その他	118
接続状態を確認する.....	118
センサーの学習について	119
データやソフトウェアのバージョンを確認する	119



オプション

ETC情報を確認する	120
ETC情報について	120
ETC履歴/車載器情報を見る.....	120
ETCの音声/料金表示を設定する.....	121
バックモニターを使う	122
バックモニターの接続設定をする	122
バックモニターの映像を表示する	123
バックモニターの設定をする	124
画質を調整する	126

目次



付録

自車位置の測位精度について	128
地図記号の凡例	132
ソフトウェア使用許諾契約書	134
VICSについて	136
ディスクについて	139
メディアおよびファイルについて	141
故障かなと思ったら	144
メッセージ	148
用語解説	150
主な仕様	151
保証とアフターサービス	153
キーワードインデックス	154

こんなことができます

ナビを便利に使う！



場所を探す

P41

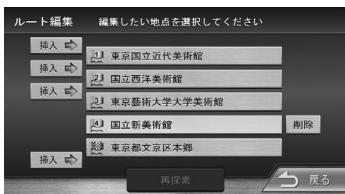


いろいろな方法で、行き先などの場所を探します。



ルートを編集する

P66



行き先の順番を変えたり、削除できます。



エコドライブのアドバイス

P38



エコドライブの評価が表示されます。
また、ECOメニューでは、エコドライブのアドバイスも表示されます。



探した場所を行き先に設定する

P52



探した場所を行き先（目的地、経由地）に設定してルートを探します。



探した場所を登録する

P68



探した場所を地点登録できます。名前、電話番号などを編集することもできます（ P70）。



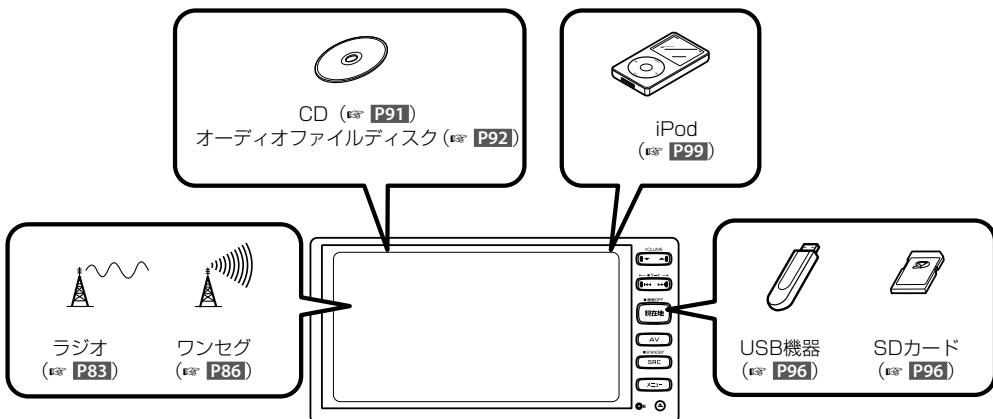
VICS情報

P76



VICS情報を本機で取得すると地図上に表示されます。

AVを楽しむ！



サウンド設定

☞ P104



車内の音響効果や音質を調整できます。

安全上のご注意

はじめに

- ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所（車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

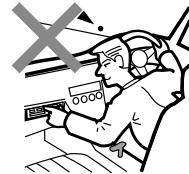
 禁止	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告



交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。



はじめに



運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。



運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。



- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



修理は必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。



探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。



本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のものとで差異が生じているためです。走行時には、常に実際の道路状況や交通規制などに従って運転してください。

⚠ 警告



実施

一方通行表示については、常に実際の交通規制に従って運転してください。本製品の地図には、全ての一方通行道路が表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が両面通行の場合があります。



禁止

画面が表示されない、音声が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



実施

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、実際の道路状況や交通規制などと一致しない場合があります。常に実際の道路状況や交通規制に従って運転してください。



実施

万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



実施

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
取り付け作業には専門技術が必要です。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



実施

本機は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見るすることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(☞ P144) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしごり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点ができることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
 - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - ・細街路を走行中の現在地図画面
 - ・市街地図を表示しているとき
 - ・マップマッチングしていないとき
- *：細街路とは、道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

カーナビゲーションに関する個人情報について

本機にメモリーされた個人情報について

はじめに

本機を譲渡したり、売却したりする場合などには、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去のしかたは本取扱説明書をご覧ください。

消去は、「ユーザー設定の初期化」（☞ P117）で行えます。

なお、次のデータや設定は消去できません。個別に消去/解除してください。

●暗証番号の解除（☞ P16）

弊社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

弊社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。

該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846

（ディーラーオプション専用窓口）

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町

3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
(土曜、日曜、祝日および当社休日は
休ませていただきます)

すでに製造済みの製品での情報の削除や変更には応じられませんので、予めご了承ください。

車両運転中における携帯電話やPHS等の使用は、非常に危険であり、改正道路交通法（法第71条5号の5）により禁止されています。車両等から携帯電話やPHS等で弊社にお電話または電子メールをいただく場合は、安全な場所に停車された上でご連絡くださるようお願い申し上げます。

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と表記について説明します。

本書の構成

	はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(☞ P6)
	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作が記載されています。(☞ P18)
	地図の表示や操作、カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作について記載されています。(☞ P26)
	オーディオ&ビデオおよびサウンドの操作について記載されています。(☞ P82)

はじめに

本書の表記

イラストについて

本書では、フロントパネルのイラストはNMCK-W65Dを使用しています。

下で説明する操作を始める前に、ここに記載されている操作をまず行ってください。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

キーやボタンの表記について

- 【 】はハードキーを表します。
ハードキーについては、18 ページまたは20 ページをご覧ください。
例：【メニュー】は、 を表します。

- []は画面に表示される操作ボタンを表します。

例：【履歴】は を表します。

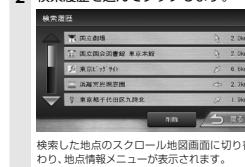
表示例

検索履歴から探す

今までにルート探索した行き先から探します。



2 検索履歴を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については64ページをご覧ください。



- 目的地または経由地として設定してルート探索した場所が履歴に保持されます。
- 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。
- 検索履歴を手動で削除することもできます。

本書での参照先は、この構別のマークで分類されています。

操作するボタンについてのマークです。

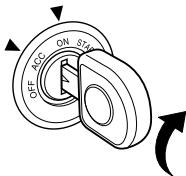
補足説明や制限事項などが記載されています。

電源を入れる/切る

電源オン

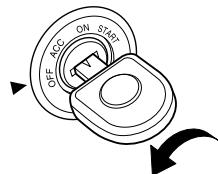
車両のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にすると、本機の電源がオンになります。

はじめて



電源オフ

車両のイグニッションキーを“OFF”にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときやバッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動等によって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- 電源を切らないようにというメッセージが画面に表示されているとき以外は、いつでも電源をオフにできます。これによって、本機内のデータや設定が失われることはありません。また、ルート案内の途中でもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

暗証番号を設定/変更する

暗証番号を設定する

盗難防止対策のため、本機の起動時の暗証番号を設定できます。

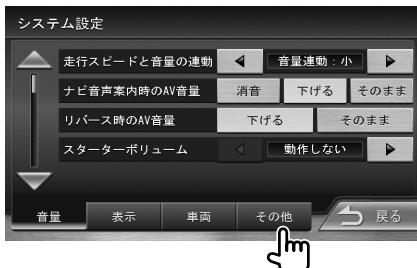
▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 [その他]にタッチします。



3 「暗証番号」の[設定]にタッチします。



4 設定する4～8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



にタッチすると、最後に入力した1桁を削除できます。また、タッチし続けると、すべての数字を削除できます。

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



● 暗証番号は、下欄に記入しておいてください。

--	--	--	--	--	--	--

● 暗証番号が設定されているときは、本機の電源オン時にここで設定した暗証番号の入力が必要になります。



正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

暗証番号を設定/変更する

暗証番号を変更/解除する

暗証番号を変更または解除します。

はじめに

▶ 情報・設定メニューを表示します

[メニュー] ➔ 情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 [その他]にタッチします。



3 「暗証番号」の[解除]または[変更]にタッチします。



4 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



暗証番号を解除する場合は、ここで解除され、操作はここまでです。

暗証番号を変更する場合は、5に続きます。

5 新しく設定する4～8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



6 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

画面の時計表示について

画面を消しているとき(画面オフ)と映像を表示しているときの時計表示を消すことができます。

▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 ➔ 

1 [システム設定]にタッチします。



2 [表示]にタッチします。



3 [表示しない]にタッチします。



[表示する]にタッチすると時計を表示します。

《時計表示画面》



はじめに

《時計表示なし画面》



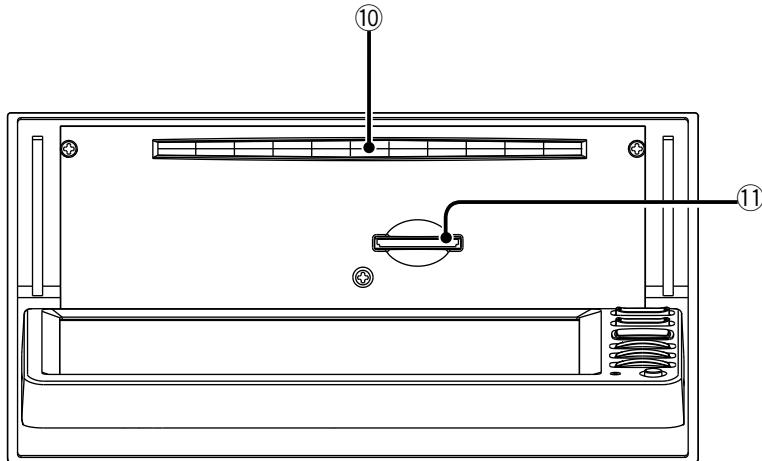
- 本機の時計は、GPS電波を利用して自動で設定されます。
- 時計は、24時間表示です。
- 画面オフ/映像表示以外の画面(現在地図画面など)では、「表示しない」に設定しても時計表示を消すことはできません。

各部の名称とはたらき

《NMCK-W65D》



基本操作





- ナビの音声案内の音量は では調整できません。音量調整については59ページをご覧ください。

① 画面

② (音量キー)

ソースの音量を調整します。

③ (スキップ/サーチキー)

- ラジオ、ワンセグの放送局を切り替えます。
押し続けると、自動的に受信状態の良い放送局を受信します。
- CD、iPod、オーディオファイル(SDカード、USB機器)再生中は、前または次の曲やファイルを再生します。
押し続けると、早戻しまたは早送りします。

④ (現在地キー)

- 現在地周辺の地図の画面(現在地図画面)を表示します([P26](#))。
- 押し続けると、画面がオフになります([P25](#))。

⑤ (AVキー)

現在のソースの画面を表示します。

⑥ (ソースキー)

- ソースを切り替える画面(ソース切替画面)を表示します([P82](#))。
- 押し続けると、オーディオソースがオーディオオフ(STANDBY)になります([P82](#))。

⑦ (メニューキー)

目的地検索メニューを表示します([P41](#))。

⑧ (オープンキー)

フロントパネルの角度調整([P25](#))、ディスクやSDカードの出し入れを行う画面を表示します([P90](#)、[P95](#))。

⑨ セキュリティインジケータ

セキュリティインジケータを設定([P113](#))しているときは、電源オフ時に点滅します。

⑩ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑪ SDカード挿入口

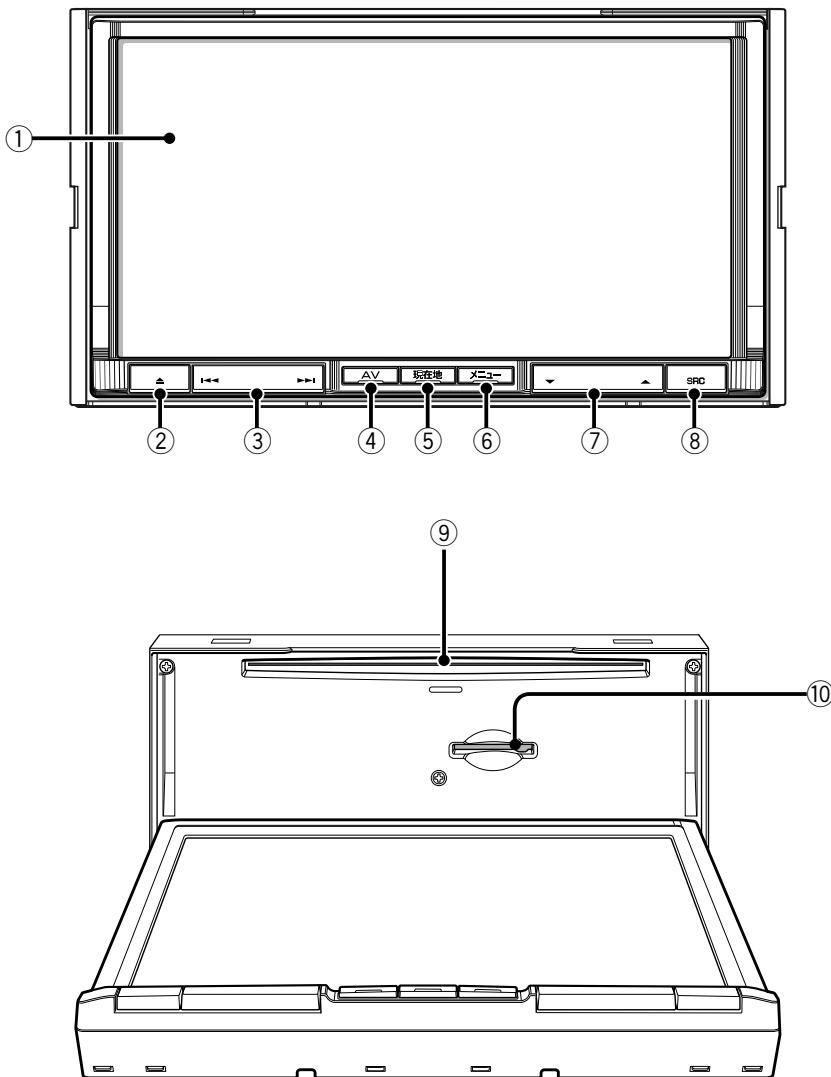
- SDカードを挿入します。
- ソフトウェアをアップデートする際にも使用します。

各部の名称とはたらき

《NMCK-D65D》



基本操作





基本操作

① 画面

② (オープンキー)

セキュリティインジケータ

— フロントパネルの角度調整 (☞ P25)、ディスクやSDカードの出し入れを行う画面を表示します (☞ P90、P95)。

— セキュリティインジケータを設定 (☞ P113) しているときは、電源オフ時に点滅します。

③ (スキップ/サーチキー)

— ラジオ、ワンセグの放送局を切り替えます。
押し続けると、自動的に受信状態の良い放送局を受信します。

— CD、iPod、オーディオファイル(SDカード、USB機器)再生中は、前または次の曲やファイルを再生します。

押し続けると、早戻しましたは早送りします。

④ (AVキー)

現在のソースの画面を表示します。

⑤ (現在地キー)

— 現在地周辺の地図の画面(現在地図画面)を表示します (☞ P26)。
— 押し続けると、画面がオフになります (☞ P25)。

⑥ (メニューキー)

目的地検索メニューを表示します (☞ P41)。

⑦ (音量キー)

ソースの音量を調整します。

⑧ (ソースキー)

— ソースを切り替える画面(ソース切替画面)を表示します (☞ P82)。

— 押し続けると、オーディオソースがオーディオ OFF(STANDBY)になります (☞ P82)。

⑨ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑩ SDカード挿入口

— SDカードを挿入します。
— ソフトウェアをアップデートする際にも使用します。



● ナビの音声案内の音量は では調整できません。音量調整については59ページをご覧ください。

画面の切り替えかた



基本操作

ナビモード

現在地図画面

現在地周辺の地図が表示されます。



【メニュー】

【現在地】

【AV】

AVモード

【現在地】



【SRC】

【AV】

AVソース画面(画面例:Tuner)

- 【AV】を押すとAVモードになり、現在選択されているソースの再生画面が表示されます。
- 【現在地】を押すと現在地図画面に戻れます。
- 【メニュー】を押すと目的地検索メニューが表示されます。
- 【SRC】を押すとソース切替画面が表示されます。



基本操作

目的地検索メニュー

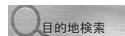
行き先(目的地、経由地)をいろいろな方法で探します。



ルート

ルートメニュー

設定されている行き先(目的地、経由地)を確認・編集します。

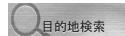


目的地検索

案内終了

まっぶるコードで探す

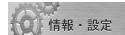
まっぶるコードで探す



目的地検索

ルート

情報・設定



情報・設定メニュー

設定や、VICS情報などの表示を行います。



ソース切替画面

ソースを切り替えます。



- ソース切替画面でソースを選択すると、選択したソースに切り替わり、そのソースの画面が表示されます。

画面の操作について



基本操作

項目が無効のとき

選択できない項目はグレー表示されます。



メニュー/リストの操作

メニュー表示のとき



▲または▼でページを切り替えられます。

リスト表示のとき

曲またはファイルのリストをタッチすると、再生が始まります。

アルバムまたはフォルダのリストをタッチすると、その中の曲などのリストに切り替わります。

例：ファイルリスト



曲などが複数のページにある場合には、▲または▼でページを切り替えられます。バーの部分をスライドさせてもリストをスクロールできます。

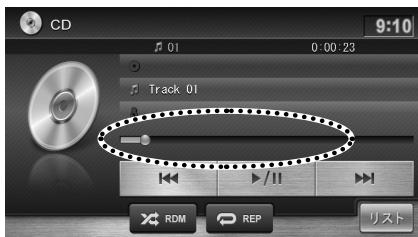
前の画面に戻る

[戻る]にタッチします。



シークバーの操作

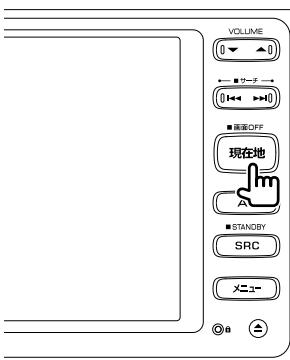
シークバーは現在の再生位置を表示しています。タッチまたはドラッグすると、再生位置を変更することができます。シークバーがグレー表示のときは操作できません。



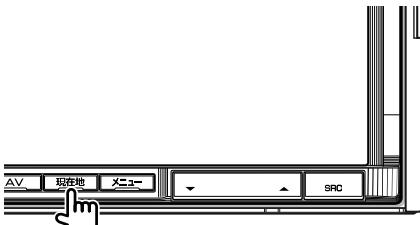
画面のオン/オフ

【現在地】を押し続けると、画面がオフになります。

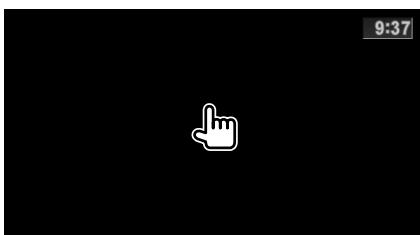
《NMCK-W65D》



《NMCK-D65D》



画面をオンにするときは
画面にタッチします。



- 電源をオフにすると画面オフの設定は解除されます。

フロントパネルの角度を調整する

画面が反射するなどで見づらい場合には、ドライビングポジションから見やすいように画面角度を調整してください。

フロントパネルの角度

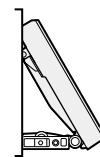
《-1の場合》



《0の場合》



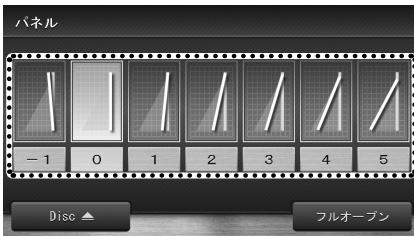
《5の場合》



基本操作

1 【▲】(オープンキー)を押します。

2 角度のボタンにタッチします。



ボタンにタッチするたびにフロントパネルの角度が変わります。

3 AV画面を表示するときは【AV】、
現在地図画面を表示するときは
【現在地】を押します。



- フロントパネルの角度が "0" 以外に設定されていても、電源オフ時には "0" の位置に戻ります。再度電源をオフにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。



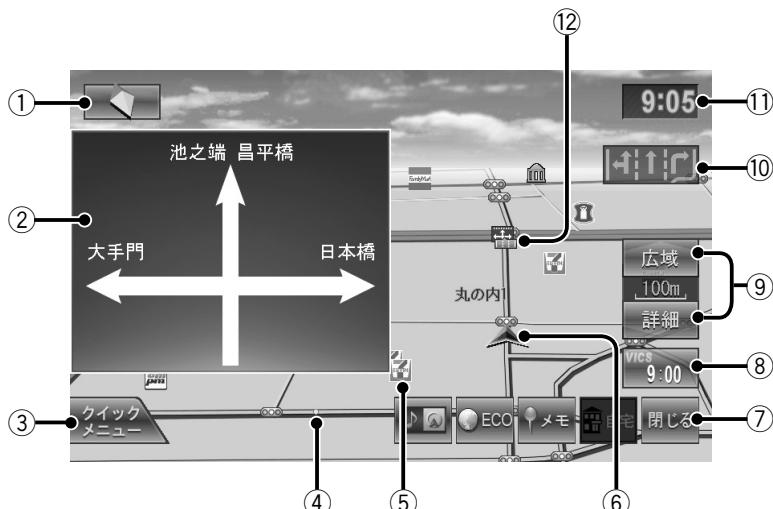
- 電源をオフにすると画面オフの設定は解除されます。

現在の場所の地図を表示する

【現在地】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



カーナビ



① コンパスボタン

地図の方針を示します。
タッチすると、地図の向き（3Dヘディングアップ/ノースアップ/ヘディングアップ）を切り替えることができます（☞ P27）。

② 方面看板ボタン

方面看板情報のある交差点に近づくと表示されます。表示しないようにすることもできます（☞ P65）。

③ クイックメニュー ボタン

タッチすると、クイックメニューを表示します（☞ P33）。

④ 走行軌跡（水色）

表示しないように設定することができます。
また記憶されている走行軌跡を消去することもできます（☞ P34）。

⑤ ランドマーク

地図上に目印となる施設をマークで示します。
表示するマークの種類は変更することができます（☞ P31）。

⑥ 自車マーク

現在地と進行方向を表します。

⑦ 閉じるボタン

タッチすると操作ボタンを閉じます（☞ P32）。

⑧ VICS情報ボタン

VICS情報の提供時刻が表示されます。
タッチすると、VICS情報画面を表示します（☞ P79）。

⑨ 広域ボタン/詳細ボタン

現在の地図の縮尺が表示されます。
[広域]または[詳細]にタッチすると、より広域または詳細な地図を表示します（☞ P28）。

⑩ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。
表示しないように設定することもできます（☞ P65）。

⑪ 時計

現在の時刻が24時間制で表示されます。
本機の時計はGPS電波を利用して自動で設定されます。

⑫ 案内地点

■：②の方面看板の案内地点を示します。
■：⑩のレーン情報の案内地点を示します。



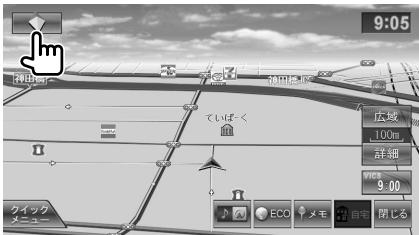
● 現在地の地図が表示されていないときは【現在地】を押してください。どのような画面が表示されていても、現在地の画面に戻ります。

● 細街路（幅員5.5m未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に表示されます。

地図の向きと表示方法を変える

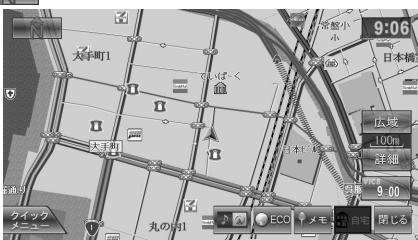
地図の向き(3Dヘディングアップ/ノースアップ/ヘディングアップ)と表示方法(3D/2D)を切り替えることができます。

1 コンパスボタンにタッチします。



地図の向きが、3Dヘディングアップ→ノースアップ→ヘディングアップ→3Dヘディングアップの順に切り替わります。

(ノースアップ)



地図の北が画面の上になるように2D地図が表示されます。

(ヘディングアップ)



進行方向が画面の上になるように2D地図が表示されます。



● 地図の向きは、メニューで切り替えることもできます
(☞ P34)。



カーナビ

(3Dヘディングアップ)



進行方向が画面の上になる向きで3D地図が表示されます。

市街地図では、周囲の建物の様子まで再現した3Dバーチャルマップが表示されます。



地域によっては、3Dバーチャルマップを表示できない場合があります。

地図の縮尺を変える

地図の縮尺を変えることができます。

1 [広域]または[詳細]にタッチします。



広域または詳細な地図が表示されます。



カーナビ

- 50m、25m、10mスケールでは市街地図が表示されます。ただし、市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては、自車位置が道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面([P29](#))で縮尺を変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ縮尺で表示されます。



スクロールして地図を表示する

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールされます（ポイントスクロール）。また、地図にタッチし続けると、タッチしている方向に地図が連続してスクロールされます（連続スクロール）。



① カーソル (カーソル)

操作の対象となる地点を指します。

② 地点情報

カーソルの位置の地点情報メニューを表示します。この画面で、カーソルの位置を行き先（目的地、経由地）に設定したり（[P52](#)）、地点登録する（[P68](#)）こともできます。

③ 地点情報表示

カーソルのある地点の情報（住所や施設名など）と、現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

④ 地図回転ボタン

タッチすると、カーソルを中心に地図を360度回転します。

このボタンは、3Dヘディングアップ時に表示されます。

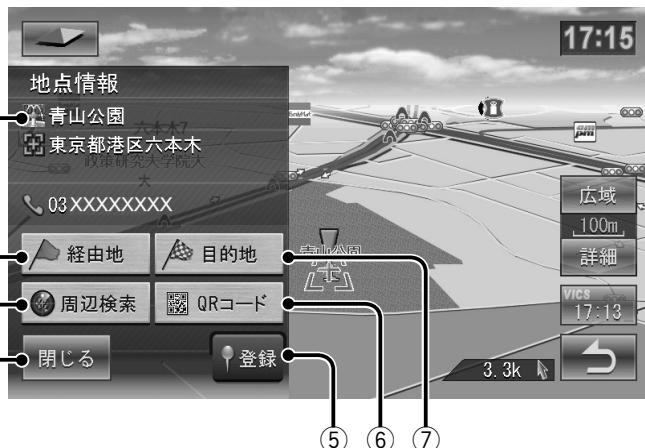


●【現在地】を押すと、現在地画面に戻ります。

●走行中は連続スクロールできません。

スクロールした地点の情報を見る

スクロール地図画面で[地点情報]にタッチすると、カーソルのある地点の情報が表示されます。



① 施設名/住所/電話番号

② 経由地

カーソルのある地点を経由地に設定します
(☞ P52)。

③ 周辺検索

カーソルのある地点で、施設を周辺検索します。
検索方法については、46 ページの 3 以降を
ご覧ください。

④ 閉じる

地点情報メニューを閉じます。

⑤ 登録

カーソルのある地点を地点登録します
(☞ P68)。

⑥ QRコード

地点情報をQRコード(2次元バーコード)に変換して表示します。携帯電話で読み取ると、携帯電話で地図を見るることができます(☞ P51)。

⑦ 目的地

カーソルのある地点を目的地に設定します
(☞ P52)。

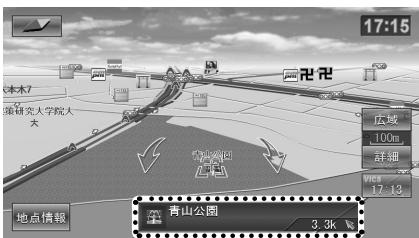


● 施設名、住所、および電話番号は、データベースから情報を取り取得できた場合に表示されます。

ランドマークの情報を表示する

地図に表示されるランドマークの情報を表示します。

- 1 情報を表示するランドマークにタッチします。



地点情報表示では、施設名と、現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。



- 地図でマークが重なっている場合、地点情報表示のマークにタッチすると、表示される情報が切り替わります。



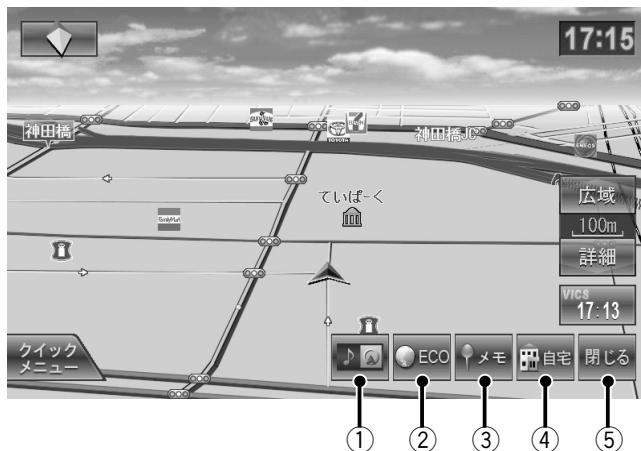
カーナビ

地図画面のショートカットボタンを使う

操作ボタンの機能を使います。



カーナビ



① 簡易AV表示を表示します (☞ P33)。



② 工コ情報を表示します (☞ P38)。



③ 現在地を地点登録します (☞ P68)。



④ 自宅に帰るルートを探索します (☞ P40)。



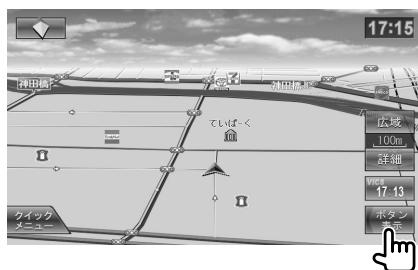
⑤ 操作ボタンを閉じます。



- [自宅]で自宅に帰るルートを探索するためには、あらかじめ自宅を地点登録しておく必要があります (☞ P40)。

操作ボタンを表示するときは

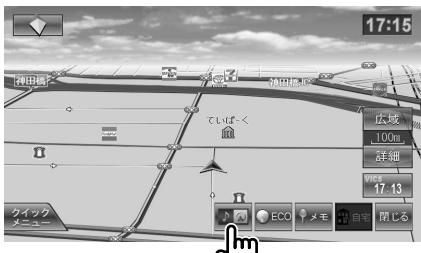
操作ボタンが表示されていないときは、[ボタン表示]にタッチします。



AVソース画面を地図画面に表示する

現在地図画面に現在のソースの画面を表示することができます(簡易AV表示)。

1 []にタッチします。



簡易AV表示が表示されます。

もう一度 [] にタッチすると、簡易AV表示は消えます。

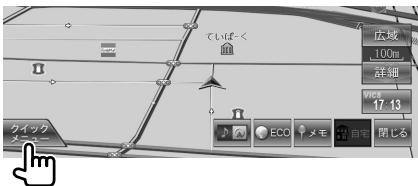


- 地図をスクロールすると、簡易AV表示は消えます。現在地図画面に戻ると、再び簡易AV表示が表示されます。
- 走行中は、映像は映りません。
- 簡易AV表示中は、方面看板やハイウェイモード画面が表示されません。

クイックメニューを使う

クイックメニューのボタン(ショートカットボタン)に機能を割り当てます。

1 [クイックメニュー]にタッチします。

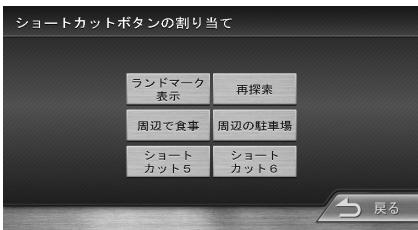


カーナビ

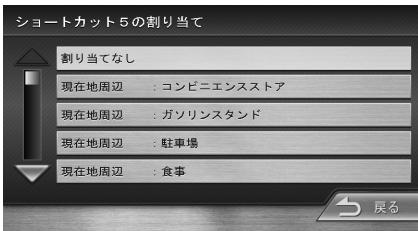
2 [編集]にタッチします。



3 設定するボタンにタッチします。



4 設定する機能を選んでタッチします。



機能が割り当てられ、3 の画面に戻ります。

割り当てた機能は地図画面で[クイックメニュー]にタッチすると表示されます。
使いたい機能にタッチしてください。

地図の表示を設定する

地図の色やランドマークの表示など、地図の表示方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
地図色	—	地図の色を設定します (☞ P35)。
ランドマーク表示	—	地図に表示するランドマークを設定します(☞ P35)。
登録地点表示	—	地図に表示する登録地点を設定します(☞ P36)。
自車マーク	—	自車マークのデザインを設定します。
ぬけみちの表示	する* しない	ぬけみちを表示します。 表示しません。
走行軌跡の表示	する* しない	軌跡を表示します。 表示しません。
走行軌跡を消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。 [消去]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。 [はい]にタッチすると、走行軌跡は消去されます。
地図の向き	ヘディングアップ ノースアップ 3D表示	ヘディングアップにします。 ノースアップにします。 3D表示にします。

* お買い上げ時の設定



- 走行軌跡は、現在地より過去100km分が保存されています。
- 「走行軌跡の表示」を[しない]に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。
- ランドマーク表示は、お買い上げ時は、「コンビニエンスストア」、「ガソリンスタンド」、「カーディーラー → ダイハツ」が表示されています。
- 「ぬけみちの表示」とは、本機のデータベースに収録されている情報からぬけみちを表示する機能です。
ぬけみちは、200m以下のスケールで紫色で表示されます。200mよりも広域のスケールや市街地図では表示されません。

地図の色を設定する

昼画面/夜画面の地図の色(イメージ)を設定します。
また、昼画面/夜画面の切り替え方法を設定します。

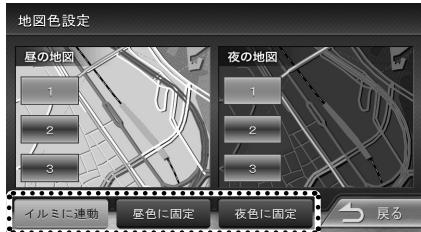
▶ ナビ設定(地図)メニューを表示します

【メニュー】  情報・設定 

1 「地図色」の[設定]にタッチします。



2 [イルミに連動]、[昼色に固定]、または[夜色に固定]にタッチして、画面の切り替え方法を設定します。



- [イルミに連動]：車両のライトスイッチに連動して(ライト消灯時には昼画面、点灯時には夜画面)自動的に切り替わります。
- [昼色に固定]：常に昼の色の地図を画面に表示します(昼画面)。
- [夜色に固定]：常に夜の色の地図を画面に表示します(夜画面)。

3 「昼の地図」および「夜の地図」の色のボタン(1、2、3)にタッチして、各々の色を設定します。

ただし、昼固定時は昼画面のみ、夜固定時には夜画面のみを設定できます。

ランドマークの表示を設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。

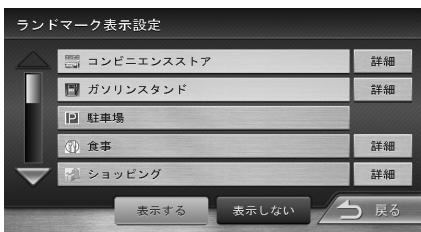
▶ ナビ設定(地図)メニューを表示します

【メニュー】  

1 「ランドマーク表示」の[設定]にタッチします。



2 表示するランドマークのジャンルのボタン、またはその[詳細]にタッチします。



ジャンルのボタンにタッチすると、そのジャンルに含まれるすべての項目がハイライトされ選択されます。

個別に選択する場合は、[詳細]にタッチして項目を選んでください。

ハイライト表示されているボタンにタッチすると、通常の表示に戻り、選択が解除されます。

- 2で[表示しない]にタッチすると、すべてのランドマークが表示されません。
- ランドマークは、100m以下のスケールで表示されます。



カーナビ

地図の表示を設定する

登録地点の表示を設定する

地図に表示する登録地点をカテゴリーで設定します。

▶ ナビ設定(地図)メニューを表示します

【メニュー】 ナビ設定

1 「登録地点表示」の[設定]にタッチします。



2 表示する登録地点のカテゴリーをタッチします。



タッチするとそのカテゴリーが選択され、ボタンはハイライト表示されます。

ハイライト表示されているボタンにタッチすると、通常の表示に戻り、選択が解除されます。



● 2 で[表示しない]にタッチすると、すべての登録地点が表示されません。

現在地を修正する

自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正できます。

▶ ナビ設定(地図)メニューを表示します



1 「その他」にタッチします。



2 「現在地修正」の[修正]にタッチします。



3 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせます(位置を修正)。



4 [向きを修正]にタッチします。

5 (または)にタッチして、自車の向きを設定します(向きを修正)。



カーナビ

6 [決定]にタッチします。



● 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。

● 6で[決定]にタッチする前なら、[位置を修正]または[向きを修正]にタッチして、何度も自車位置や向きを修正しなおせます。

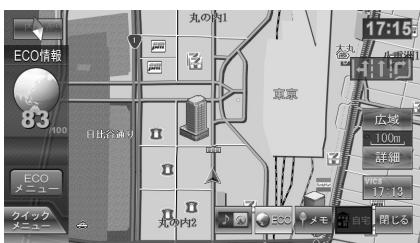
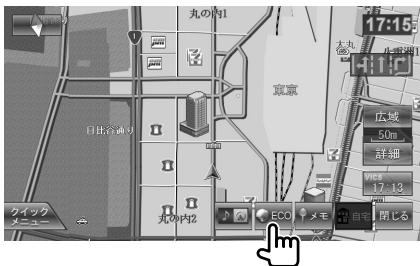
● 6で[決定]にタッチする前に (または)にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されてナビ設定(その他)メニューに戻ります。

エコドライブのアドバイス

エコ情報を表示する

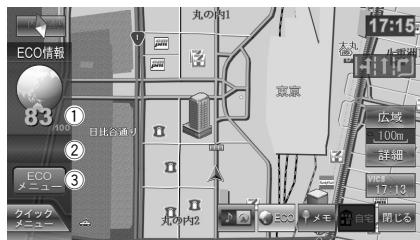
エコ情報を表示します。

1 [ECO]にタッチします。



エコ情報が表示されます。

《エコ情報表示》



① エコドライブ評点

少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。

② エコ情報インジケータ

eスタート、急加速、急減速、および経済速度の判定が表示されます。

③ ECOメニュー

ECOメニューを表示します (☞ P39)。

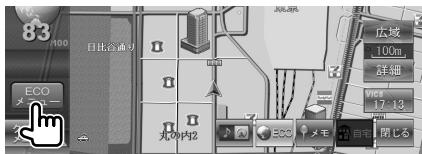


- エコ情報で表示される内容は、あくまでも目安です。
- エコ情報画面が表示されているときは、方面看板、ハイウェイモード画面は表示されません。

ECOメニューを表示する

ECOメニューを表示します。

1 [ECOメニュー]にタッチします。



ECOメニューが表示されます。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン 説明

日ごとの運転のエコ評価を、評価項目ごとに表示します。

運転評価



ECOレシオ

7運転日の燃費度合いの変化をグラフで表示します。



エコドライブのアドバイスを表示します。

ECOアドバイス説明

地球温暖化を防ぐためには燃料消費量を抑えることが必要です。毎日のECOドライブにチャレンジして地球温暖化防止に貢献しましょう。



● スタート 快速 加速 減速 経済速度 戻る

ECOアドバイス説明

アドバイス説明

運転履歴

日ごとの運転履歴を表示します。



カーナビ

● または ▶ で表示する日にちを選択できます。

ECO設定メニューを表示します。

ECO設定



ECO設定

ECO判定モード :

エコ度の判定のモード(ソフト/ノーマル*/ハード)を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。
(*お買い上げ時の設定)

ECOデータ :

過去のエコデータを消去します。
[消去]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。
[はい]にタッチすると、エコデータが削除されます。

ECO設定



● 運転評価、ECOレシオ、運転履歴は、過去30運転日分から表示する日にちを選択できます。

● 車が停車している状態をアイドリング中とみなします。エンジンを停止中でも本機の電源がオンになっていればアイドリング時間が増えます。

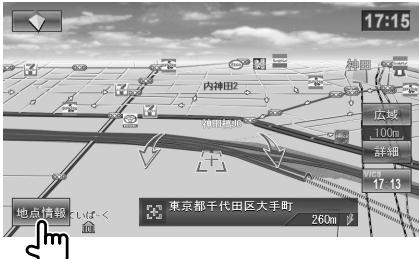
地点検索

自宅を登録する

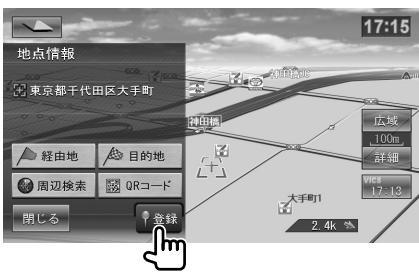
自宅を地点登録しておくと、自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

- 1 スクロール地図画面で、自宅の位置にカーソルを合わせます。

- 2 [地点情報]にタッチします。



- 3 [登録]にタッチします。



- 4 「未分類」と表示されている行の[編集]にタッチします。



- 5 [自宅]にタッチします。



●すでに自宅が登録されているときに自宅(■)を選択すると、確認のメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、自宅が変更されます。この場合、先に自宅として登録されていた地点は、「未分類」カテゴリーに移動されます。

自宅に帰る

自宅を登録しておくと、自宅に帰るルートを探索できます。

- ▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

- 1 [自宅]にタッチします。



ルート探索が開始されます。

ルート案内の開始については52 ページをご覧ください。

●現在地図画面の操作ボタンでも操作できます
(☞ P32)。



目的地検索メニューを表示する

【メニュー】を押すと、目的地検索メニューが表示されます。このメニューで、行き先(目的地、経由地)をいろいろな方法で探します。



① 名称 (☞ P42)

施設名やキーワードで地点検索します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。

② 住所 (☞ P44)

住所で地点検索します。

③ ジャンル (☞ P45)

食事や買い物など、ジャンルで地点検索します。エリアで絞り込むこともできます。

④ 周辺 (☞ P46)

現在地、経由地、目的地周辺でジャンル検索します。

⑤ 登録地点 (☞ P48)

本機で登録した場所(登録地点)のなかから探します。

⑥ 履歴 (☞ P48)

いままで地点検索した履歴の中から探します。

⑦ 自宅 (☞ P40)

現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。

ただし、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります (☞ P40)。

⑧ 番号 (☞ P47)

電話番号、郵便番号、マップコードで地点検索します。

⑨ まっぷるコードで探す (☞ P50)

まっぷるコードで検索します。



カーナビ

目的地検索メニューから探す

名称から探す

会社や店舗などの場所を名前(読みがな)で探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [名称]にタッチします。



2 施設の名前を入力します。



②にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。タッチし続けると、入力したすべての文字を削除できます。

3 [検索]にタッチします。

4 行き先を選んでタッチします。

検索結果

浜離宮	298km
浜離宮朝日ホール	2.3km
朝日新聞社 浜離宮朝日ホール	2.3km
浜離宮恩賜庭園	2.7km
浜離宮恩賜庭園	2.8km

エリアで絞り込む

ジャンルで絞り込む

戻る

エリアまたはジャンルで絞り込むときは
43 ページをご覧ください。

検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

行き先に設定してルート探索する方法については52 ページをご覧ください。



● 2 の入力時に、「。」(濁点)や「。」(半濁点)は省略できます。清音で入力してください。

また、「っ」(促音)や「やゅよ」など(拗音)は、通常の文字で入力してください。

● 名前の文字を入力するたびに対象が絞り込まれ、その状態は「完全一致」または「部分一致」に件数で表示されます。

部分一致件数が5件以下になると、自動的に 4 の画面が表示されます。

エリアで絞り込むときは

検索結果の件数が多いときには、エリアで絞り込むことができます。

- [エリアで絞り込む]にタッチします。

- 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

- 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。



- 都道府県だけの絞り込みでは件数が多い場合、市区町村を指定する画面が表示される場合があります。
- エリアで施設を絞り込んだときに該当する施設がない場合、「該当する施設がありません」と表示されます。メッセージにタッチするか一定時間が経過すると、絞り込み画面に戻ります。

ジャンルで絞り込むときは

検索結果の件数が多いときには、ジャンル(施設の種類)で絞り込むことができます。

- [ジャンルで絞り込む]にタッチします。

- ジャンルを選んでタッチします。



- 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

- 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。



- ジャンルで施設を絞り込んだときに該当する施設がない場合、「該当する施設がありません」と表示されます。メッセージにタッチするか一定時間が経過すると、絞り込み画面に戻ります。



カーナビ

目的地検索メニューから探す

住所から探す

住所で探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [住所]にタッチします。



2 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

3 市区町村を選んでタッチします。



4 画面に従って、住所の続き(地名や番地など)を入力します。



[代表地点を表示]にタッチすると、入力済みの住所付近の地図が表示されます。

[番地を入力]にタッチすると、番地の入力画面が表示され、番地(丁目、番、号など)をテンキーで入力できます。

住所を最後まで選択すると検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。



● 都道府県名、市区町村名、地名は、「あ」～「わ」で頭だけできます。

● 番地の入力画面では、丁目、番、号は、「-」でつない一度に入力することができます。



【BS】にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、入力したすべての文字を削除できます。

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルを絞り込みながら探します。さらに、エリアで絞り込みます。

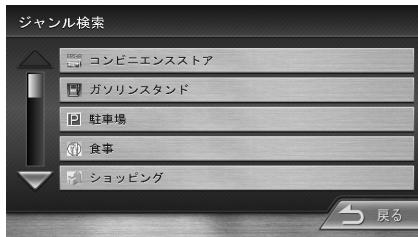
▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [ジャンル]にタッチします。



2 ジャンルを選んでタッチします。



3 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

4 都道府県を選んでタッチします。

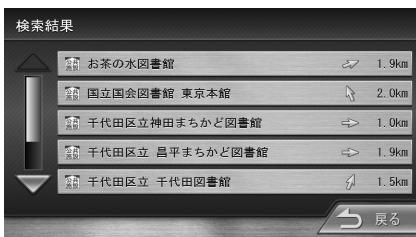


現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

5 市区町村を選んでタッチします。



6 目的の施設を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。



● 都道府県名、市区町村名は、[あ]～[わ]で頭だしできます。



カーナビ

目的地検索メニューから探す

地点の周辺施設を探す

現在地、経由地または目的地周辺にある指定したジャンルの施設を探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [周辺]にタッチします。



2 1 または 2 にタッチして、探したい地点（現在地周辺、目的地周辺、または各経由地周辺）を選択します。

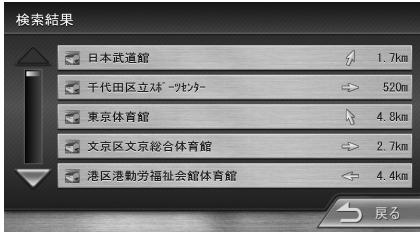


3 ジャンルを選んでタッチします。



4 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

5 目的の施設を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。



- ルートが設定されていないときは、2 で目的地や経由地は指定できません。
- 目的地周辺または経由地周辺で周辺検索した場合、検索結果画面に表示される距離は、目的地または経由地からの直線距離です。
(目的地周辺の場合)



(経由地周辺の場合)



- 地点情報画面から周辺検索を行った場合は、目的地や経由地は指定できません。

電話番号/郵便番号/マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードで探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [番号]にタッチします。



2 検索に使用する番号の種類を選んでタッチします。



3 番号を入力して[決定]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。

BS にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、すべての文字を削除できます。



● 指定した電話番号がデータベースに収録されていない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。

局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。

● 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して[検索]にタッチしてください。



● 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。

● 電話番号または郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索]にタッチする必要はありません。

● マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ(<http://www.e-mapcode.com/>)をご覧ください。



カーナビ

目的地検索メニューから探す

登録地点から探す

登録した地点から探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [登録地点]にタッチします。



2 カテゴリーを選んでタッチします。



3 登録地点を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

行き先に設定してルート探索する方法については52 ページをご覧ください。



- 地点の登録方法については68 ページ、編集方法については70 ページをご覧ください。

検索履歴から探す

今までにルート探索した行き先から探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [履歴]にタッチします。



2 検索履歴を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。

行き先に設定してルート探索する方法については52 ページをご覧ください。



- 目的地または経由地として設定してルート探索した場所が履歴に保持されます。
- 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。
- 検索履歴を手動で削除することもできます
(☞ P49)。

検索履歴を削除するときは
不要になった履歴地点を削除します。

1 [削除]にタッチします。

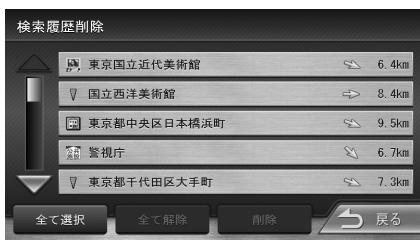


- 削除した履歴地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- 2で複数の地点を選択することもできます。
- 2で、[全て選択]にタッチすると、すべての履歴地点が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、履歴地点の選択が解除されます。
- 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、自動的に古いものから削除されます。



カーナビ

2 削除する履歴地点を選んでタッチします。



3 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

選択した履歴地点が削除され、1の画面に戻ります。

目的地検索メニューから探す

まっぷるコードで探す

まっぷるコードで観光地などを探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

[メニュー]

- 1 [まっぷるコードで探す]にタッチします。



- 2 まっぷるコードを入力し、[決定]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については52ページをご覧ください。



- まっぷるコードに関する情報は、昭文社のホームページ(<http://www.mapple.co.jp/>)をご覧ください。

マップクリップを利用する

マップクリップは、地点情報をQRコード(2次元バーコード)に変換し携帯電話またはスマートフォンで読み取ると、携帯電話またはスマートフォンで地図を見ることができるサービスです。

●「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンでご利用いただけます。

●携帯電話の機種によっては、QRコードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合はQRコードを読み取るアプリケーションが必要です。

●携帯電話でのQRコードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンでQRコードを読み取るには、アプリケーションが必要です。

●読み取った地図1画面のみの閲覧は無料です。スマートフォンの場合、1画面の閲覧と地図の縮尺変更まで無料です。(通信料、パケット料はお客様負担となります。)

●「ケータイMapFan」または「MapFanプレミアム」会員の方は、地図の縮尺変更(スマートフォンは可能)や移動など、1画面を超える範囲を見ることができます。また、表示した地図周辺のさまざまスポットを検索することもできます。

●「マッククリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

▶ 地点検索します

1 [QRコード]にタッチします。



カーナビ

2 QRコードを表示して、携帯電話またはスマートフォンで読み取ります。



[QR] : 検索した地点のQRコードを表示します。

[自車] : 自車位置と検索した地点のQRコードを表示します。

[目的] : 目的地と検索した地点のQRコードを表示します。

[小]/[中]/[大] : QRコードを大、中、小で表示の大きさを切り替えます。



QRコードを読み取るとMapFanのサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ルート探索と案内開始

ルートを探索して案内を開始する

地点検索した場所を行き先（目的地、経由地）に設定してルートを探し、ルート案内を開始します。経由地は目的地を設定した後に設定できます。

▶ 行き先を地点検索します

目的地に設定するときは

1 [目的地]にタッチします。



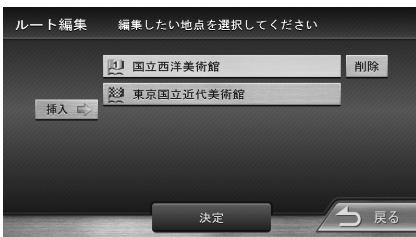
ルート探索が開始されます。

経由地に設定するときは

1 [経由地]にタッチします。



2 経由地の挿入位置を確認し、[決定]にタッチします。



ルート探索が開始されます。

挿入位置の変更や削除については66 ページをご覧ください。

ルートを選択して案内を開始するときは

1 ルートを選択します。



目的地までの到着予想時刻と距離が表示されます。

有料道路を通る場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。

[推奨]：推奨ルートです。

[一般]：一般道を優先的に通るルートです。

[高速]：高速道路を優先的に通るルートです。

[距離]：距離ができるだけ短くなるルートです。

[高速/距離]：高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道では距離ができるだけ短くなることを優先したルートです。

[5ルート]：すべてのルートを表示します。5ルートを表示すると、ルートの中でエコ（燃費が経済的）なルートに葉っぱアイコンが表示されます。

2 [案内開始]にタッチします。

ルート案内が開始されます。

ルート案内中の地図については60 ページをご覧ください。



- 目的地が設定されていないときには経由地は設定できません。
- 経由地は4か所まで設定できます。
- 続けて経由地を設定する場合は、2で、【メニュー】を押して目的地検索メニューに戻り、行き先を検索してください。
- ルートの全体を見ることもできます(☞ P56)。
- 案内開始後に、行き先の順番を変えたり(☞ P66)、削除することもできます(☞ P67)。
- 料金は、車両ナンバーの設定(☞ P113)に基づいて表示されます。
- 表示される料金には、ETC割引などの各種割引は考慮されません。
- 料金は、地図データベース作成時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「～円以上」または「不明」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

[目的地] または [経由地] にタッチしたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

「一般道を目的地（経由地）にしますか？」

カーソルが高速道路または有料道路の付近にあるときに表示されます。

一般道にするときは [はい] に、高速・有料道路にするときは [いいえ] にタッチします。

「提携している駐車場があります。検索しますか？」

目的地または経由地にした施設に提携駐車場があるときに表示されます。

[はい] にタッチすると、提携駐車場の一覧が表示されます。利用する駐車場を選んでタッチします。

[いいえ] にタッチすると、施設へのルート探索が始まります。

「スマートICを利用します。よろしいですか？」

ルート探索・再探索にスマートICを利用する設定にしていて(☞ P55)、スマートICを通過するルートを探査したときに表示されます。

利用するときは [はい] に、利用しないときは [いいえ] にタッチします。

利用するインターチェンジを指定する

探索された入口または出口IC（インターチェンジ）以外のICを利用するように指定することができます。

- 1 入口または出口ICのボタンにタッチします。



- 2 入口または出口に指定するICをリストで選択してタッチします。



リストに表示された距離は、探索されたICからの直線距離です。

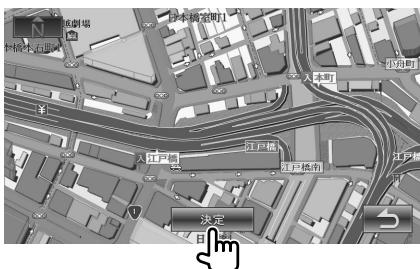


探索されたICと指定したICの2地点が表示された地図が表示されます。



ルート探索と案内開始

3 地図を確認し、「決定」にタッチします。



指定したICを通過するルートの探索が開始されます。

4 「案内開始」にタッチします。



ルート中の最初と最後のIC名が表示されます。指定したICと同じになる場合はIC名の枠が緑色になります。



- 経由地を設定しているときに、乗降ICを指定しようとすると、「乗降ICを設定すると、経由地設定が解除されます。よろしいですか？」と表示されます。「はい」にタッチすると経由地の設定が解除され、乗降ICを設定する画面が表示されます。
- 乗降ICを指定しているときに、経由地を設定しようとすると「経由地を設定すると、乗降IC設定が解除されます。よろしいですか？」と表示されます。「はい」にタッチすると乗降ICの指定が解除され、経由地の挿入先を指定する画面が表示されます(☞ P52)。
- 現在地と指定したICの位置によっては、指定したICが入口/出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定したIC付近で本機の電源をオフ/オンした場合、ICの指定が解除される場合があります。

インターチェンジ指定を解除するときは

▶ ルートメニューを表示します

【メニュー】 ➔ ルート

1 [再探索]にタッチします。



2 [乗降IC指定解除]にタッチします。



乗降IC指定が解除され、ルートの再探索が開始されます。



探索方法を設定する

ルート探索の方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】  

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [探索]にタッチします。



3 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
	推奨*	推奨ルートです。
	距離	距離ができるだけ短くなるルートです。
	高速	高速道路(有料道路)を優先的に通るルートです。
優先する探索条件	一般	一般道を優先的に通るルートです。一般道だけでは目的地に到達できない場合は、高速道路(有料道路)を通るルートになることがあります。
	高速/距離	高速道路(有料道路)を優先的に通り、一般道では距離ができるだけ短くなることを優先したルートです。
スマートICを利用した探索	する	ルート探索時にスマートICを利用します。
	しない*	利用しません。
フェリーを利用した探索	する	ルート探索時にフェリーを利用します。
	しない*	利用しません。

* 買い上げ時の設定

●スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入口方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

●スマートICを利用してのルート案内中にエンジンスイッチを切ると、次にエンジンスイッチを入れたときに「スマートICを利用します。カードの挿入を確認してください。」と表示されます。



カーナビ

ルート探索と案内開始

目的地付近の地図を表示する

目的地付近の地図を表示することができます。
経由地を設定している場合は、経由地付近の地図も表示することができます。

▶ ルートメニューを表示します

【メニュー】 ➔ ルート

1 [目的地表示]にタッチします。



目的地付近の地図が表示されます。

経由地があるときは

表示したい地点を選択します。



ルート全体を表示する

現在のルート全体を表示します。

▶ ルートメニューを表示します

【メニュー】 ➔ ルート

1 [ルート表示]にタッチします。



ルート全体とルート情報が表示されます。

シミュレーションでルートを見る

実際に走行するときと同じように、地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます（デモ走行）。

▶ ルートメニューを表示します

【メニュー】 ➔ ルート

1 [ルート表示]にタッチします。



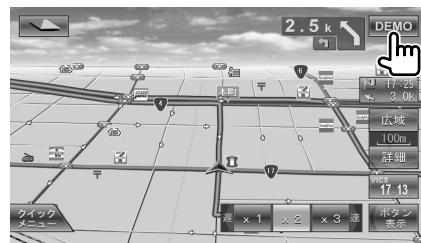
2 [デモ走行]にタッチします。



デモ走行が開始されます。

×1、×2、×3 にタッチすると、デモ走行のスピードを変えることができます。

3 デモ走行を終了するときは、[DEMO]にタッチします。



- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に、地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

カーナビ

ルート探索と案内開始

現在地からのルートを探索しなおす

現在地から、ルートの種類(推奨、距離、高速、一般、高速/距離)を変えてルート探索しなおします。

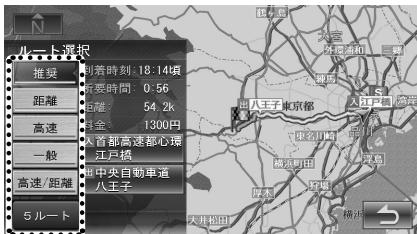
▶ ルートメニューを表示します

【メニュー】 ➔ ルート

1 [再探索]にタッチします。



2 ルートを選択します。



選択できるルートの種類については52ページをご覧ください。

3 [案内開始]にタッチします。

新しいルートでルート案内が開始されます。



- 乗降ICを指定しているときは、ルートの種類を変えることができません。ルートの種類を変えて探索しなおしたいときは乗降ICの指定を解除してください(☞ P54)。

案内を終了する

ルート案内を終了します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [案内終了]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチします。

案内が終了され、現在地図画面に戻ります。

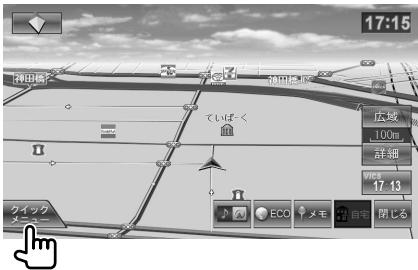


- [案内終了]は、目的地検索メニューだけではなく、ルートメニュー・情報・設定メニューからでも使用できます。
- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなさい。

ナビの音量を調整する

ナビの音声案内の音量を調整できます。

- 1 [クイックメニュー]にタッチします。

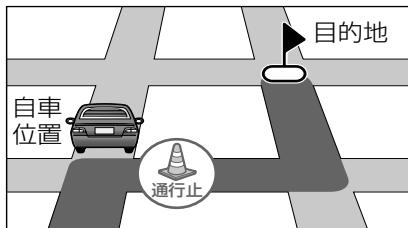


- 2 ◀または▶で、ナビの音声案内の音量を調整できます。

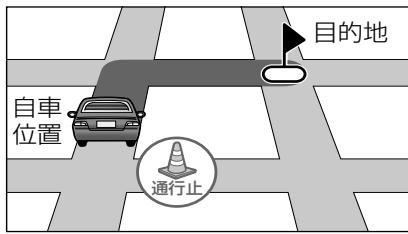


ルートから外れたときは

案内中のルートから外れても、何も操作する必要はありません。自動的に新しいルートが探索され(オートリルート)、案内が再開されます。



カーナビ



ルート案内中の地図

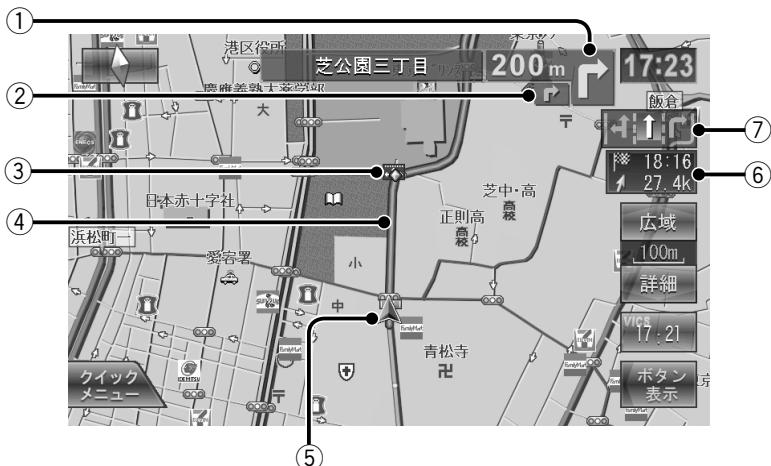
一般道でのルート案内

一般道でのルート案内中には次の情報が表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



カーナビ



① 次案内ポイント案内

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。

ただし、交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

② 次々案内ポイントでの進行方向

①のさらに次の案内ポイントの進行方向が表示されます。①とさらに次の案内ポイントが近い場合に表示されます。

③ 案内ポイント

案内ポイントの位置を表します (☞ P64)。

④ 案内ルート

道路の種類(一般道/高速道路/細街路)によって色分けして表示されます。

⑤ 自車マーク

⑥ 到着予想時刻と距離

対象の行き先(次の経由地または目的地)への到着予想時刻と距離が表示されます。

このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

⑦ レーン情報表示

次の交差点での通行区分と、案内レーン(白色矢印)が表示されます。

推奨通過レーンがある場合は水色矢印で表示されます。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中には次の情報が表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面を閉じます。

もう一度タッチすると、ハイウェイモード画面が再び表示されます。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

③ スクロールボタン

ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。

④ 現在地復帰ボタン

ハイウェイモード画面をスクロールしているときに表示され、タッチすると現在地まで戻します。

⑤ 規制情報表示

車線規制等の情報（VICS情報規制表示）が4件までマークで表示されます。

マークにタッチすると詳細情報を表示します。

複数情報があるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。

橙色：混雑、赤色：渋滞

⑦ 施設名称/施設案内表示

施設名称が表示されます。

SAまたはPAの場合、タッチすると詳細情報が表示されます。

また、進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）までの距離、通過予想時刻、および各施設の設備が表示されます。

⑧ 自車マーク

⑨ 案内ルート



● ⑤の規制情報表示のマークについては77ページをご覧ください。

● ハイウェイモード画面は、ルート案内中であるかどうかにかかわらず、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によっては表示されない場合があります。

● ハイウェイモード画面を閉じても、本機の電源をオフにした後に再びオンにしたときには再度表示されます。

● ⑦の施設の設備のマークは最大6個まで表示されます。

ルート案内中の地図

案内ポイントでの案内表示

交差点案内図の表示

一般道では、案内ポイントに近づくと交差点案内図が表示されます。表示しないように設定することもできます(☞ P65)。

《交差点拡大図》

約200m手前に近づくと表示されます。



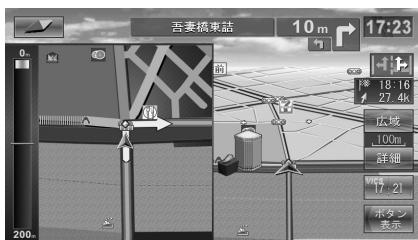
● 交差点案内図は、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。

通過前に消したいときは、交差点案内図の表示をタッチしてください。

消した交差点案内図は、【現在地】を押すともう一度表示できます。



カーナビ



《リアル交差点イラスト》

イラストのデータがある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



《側道分岐イラスト》

イラストのデータがある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。表示しないように設定することもできます(☞ P65)。

《高速入口》

都市高速道路入口の約300m手前で表示されます。



《分岐》

出口やジャンクションの約1km手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



《出口後分岐》

出口分岐を通過後、約1km手前に近づくと表示されます。

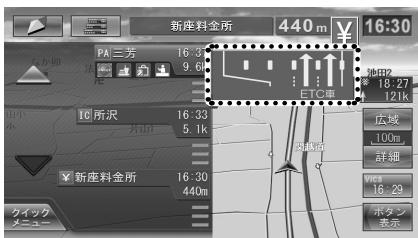


カーナビ

- 地点によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。
- イラストは、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、イラストの表示をタッチしてください。消したイラストは、【現在地】を押すともう一度表示できます。

ETCレーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートのETCレーンが表示されます。表示しないように設定することもできます(☞ P65)。



- 案内ポイントを通過すると、ETCレーン表示は自動的に消えます。通過前に消したいときは、ETCレーン表示の枠内にタッチしてください。【現在地】を押すと、もう一度表示できます。
- ETCレーン表示は、ルート案内していないときでも表示されます。
- 場所によっては情報がない場合があります。その場合は表示されません。

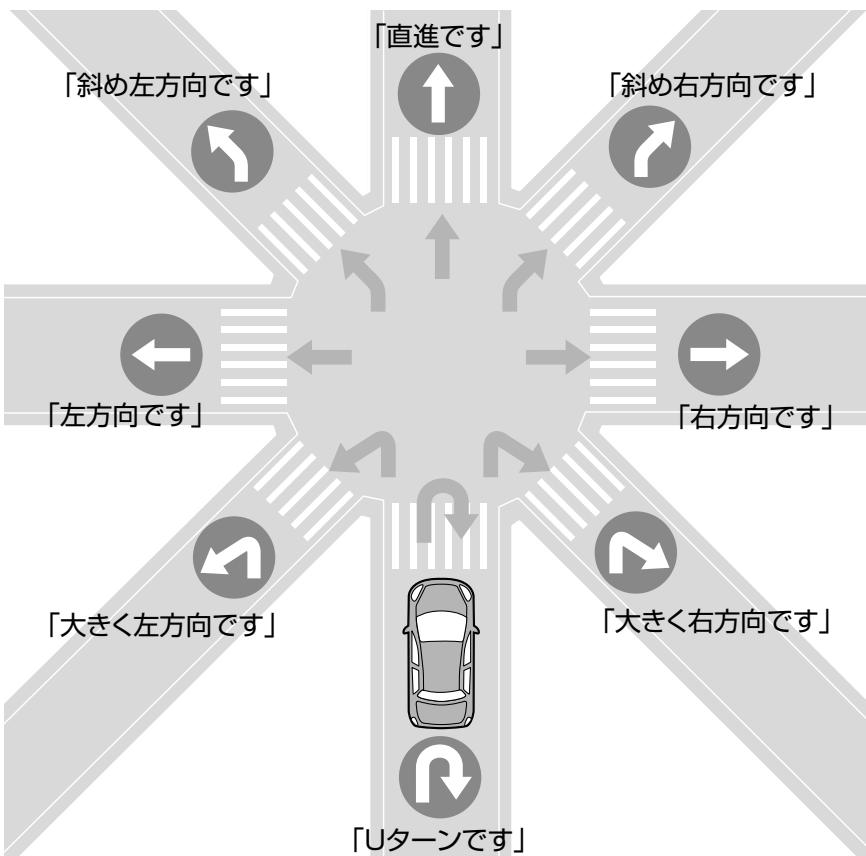
ルート案内中の地図

案内ポイント付近での音声案内

案内ポイントに近づくと、進行方向が音声で案内されます。

案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。

また、音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。なお、案内警告音は、鳴らないように設定することもできます（[P65](#)）。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

案内方法を設定する

ルート案内の方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

[メニュー] 情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [案内]にタッチします。



3 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
ナビ案内の音量	1~20	ナビゲーションシステムから出力される音声の音量を設定します。(お買い上げ時は“7”に設定されています。)
案内警告音の出力	する* しない	案内警告音を出力します。 出力しません。
ルート案内の音声出力	する* しない	ルート案内時の案内音声を出力します。 出力しません。
ETC案内の音声出力	する* しない	対応ETC車載器の案内音声を本機から出力します。 出力しません。
ETC料金の表示	する* しない	対応ETC車載器を接続しているときに、ETC通行料金を地図画面に表示します。 表示しません。
レーン情報の表示	する* しない	レーン情報を表示します (☞ P26)。 表示しません。
方面看板の表示	する* しない	方面看板を表示します (☞ P26)。 表示しません。
高速道分岐イラストの表示	する* しない	ルート案内中に高速道分岐イラストを表示します (☞ P63)。 表示しません。
交差点案内図の表示	する* しない	ルート案内中に交差点案内図を表示します(☞ P62)。 表示しません。
ETCレーンの表示	する* しない	料金所に近づいたときに、ETCレーン案内を表示します (☞ P63)。 表示しません。

* お買い上げ時の設定



- 本機の対応ETC車載器については120 ページをご覧ください。
- ルート案内の音声の音量は、クリックメニューでも設定できます(☞ P59)。

ルート編集

行き先の順番を変える

行き先(目的地、経由地)の順番を変えます。

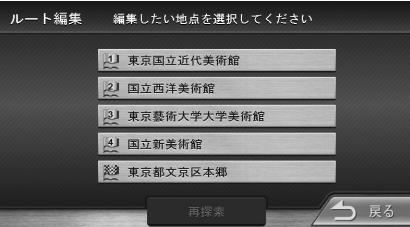
▶ ルートメニューを表示します

[メニュー] ➔ ルート

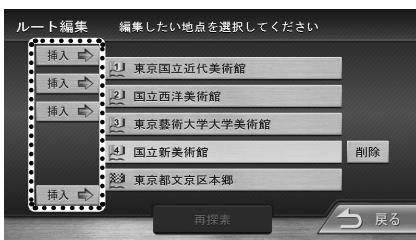
1 [ルート編集]にタッチします。



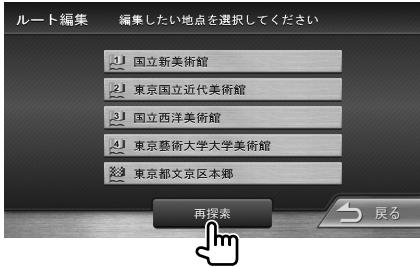
2 順番を変更する行き先を選んでタッチします。



3 移動先の [挿入 ➔] にタッチします。



4 [再探索]にタッチします。



5 [案内開始]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。

行き先を削除する

行き先(目的地、経由地)を削除します。

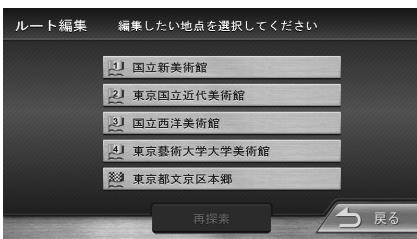
▶ ルートメニューを表示します

【メニュー】 ➔ ルート

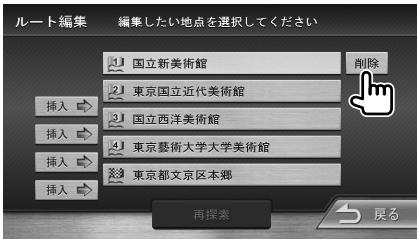
1 [ルート編集]にタッチします。



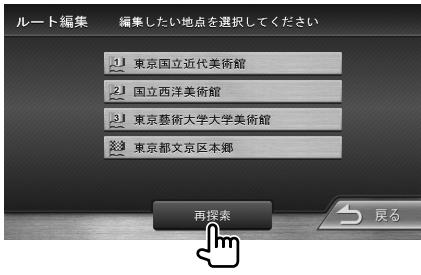
2 削除する行き先を選んでタッチします。



3 [削除]にタッチします。



4 [再探索]にタッチします。



5 [案内開始]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。



- 削除した行き先を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

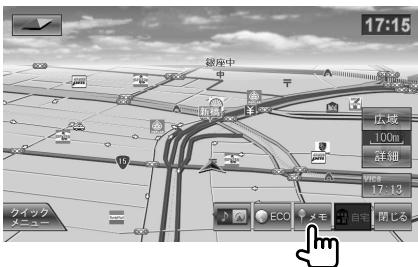
地点登録する

現在地を地点登録します。

地点は300か所まで登録できます。

すでに300か所が登録されている場合は、不要な登録地点を削除してから登録してください。削除方法については74ページをご覧ください。

1 [メモ]にタッチします。



現在地が地点登録されます。



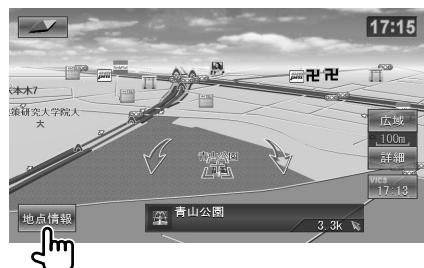
- 操作ボタンが表示されていないときは、[ボタン表示]にタッチしてください。
- 登録した地点は、カテゴリー「未分類」に登録されます。
- 登録した地点の名前、電話番号、カテゴリーを編集することができます (☞ P70)。

また、地図をスクロールしたり地点検索したりして、任意の場所を地点登録することもできます。

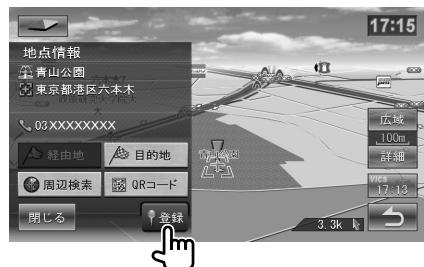
1 地点登録する場所にカーソルを合わせます。

目的地検索メニューで地点検索した場合は 3 に進みます。

2 [地点情報]にタッチします。



3 [登録]にタッチします。



カーソルの位置が地点登録されます。

登録地点の情報を見る

本機に記憶させた場所の情報を表示します（登録地点情報）。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [登録地点]にタッチします。



2 表示する情報のカテゴリーを選んでタッチします。



3 情報を表示する登録地点を選んでタッチします。



登録地点の情報が表示されます。



● 情報を表示した地図画面は、常にノースアップの100mスケールで表示されます。

登録地点を編集する

登録した地点の名前、電話番号を編集することができます。また、登録した地点のカテゴリーを変更することもできます。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [登録地点]にタッチします。



2 [編集]にタッチします。



3 編集する登録地点のカテゴリーを選んでタッチします。



登録後一度も編集していない地点は、(未分類)のカテゴリーに分類されています。

4 編集する登録地点を選んでタッチします。



登録地点編集画面が表示されます。

- 名前をつける ↗ 71 ページ
- 電話番号を設定する ↗ 71 ページ
- カテゴリーを変更する ↗ 72 ページ
- カテゴリー名を変更する ↗ 72 ページ

名前をつける

登録地点の名前を変更します。

- ▶ 名前を変更する登録地点の情報を表示します
(☞ P70)

- 1 登録地点編集画面で、名前欄の[編集]にタッチします。



- 2 名前を入力します。



文字の入力方法については75 ページをご覧ください。

- 3 [決定]にタッチします。

1 の登録地点編集画面に戻ります。



- 名前には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で48文字まで入力できます。

電話番号を設定する

登録地点に電話番号を設定します。

- ▶ 電話番号を登録する登録地点の情報を表示します
(☞ P70)

- 1 登録地点編集画面で、電話番号欄の[編集]にタッチします。



- 2 電話番号を入力します。



- 3 [決定]にタッチします

1 の登録地点編集画面に戻ります。



- ハイフン「-」は省略することもできます。
- 15文字まで入力できます。



カーナビ

登録地点を編集する

登録地点のカテゴリーを変更する

登録地点のカテゴリーを変更します。

- ▶ カテゴリーを変更する登録地点の情報を表示します (P70)

- 1 登録地点編集画面で、カテゴリー欄の[編集]にタッチします。



- 2 変更するカテゴリーを選んでタッチします。



1 の登録地点編集画面に戻ります。

登録地点のカテゴリー名を変更する

カテゴリー名を変更します。

- ▶ 目的地検索メニューを表示します

- 【メニュー】

- 1 [登録地点]にタッチします。



- 2 [編集]にタッチします。



- 3 [カテゴリー名変更]にタッチします。



4 変更するカテゴリーを選んでタッチします。



5 カテゴリーネームを入力します。



文字の入力方法については75ページをご覧ください。

6 [決定]にタッチします。

4 のカテゴリー名変更画面に戻ります。



- カテゴリーネームには、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で48文字まで入力できます。



カーナビ

登録地点を編集する

登録地点を削除する

登録地点を削除します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

【メニュー】

1 [登録地点]にタッチします。



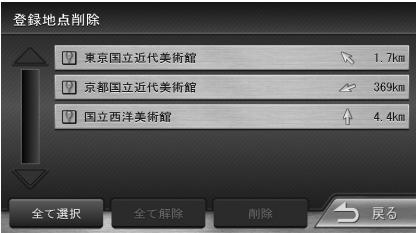
2 [削除]にタッチします。



3 削除する登録地点のカテゴリーを選んでタッチします。



4 削除する登録地点を選んでタッチします。



5 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

6 [はい]にタッチします。



● 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。

● 4 で複数の地点を選択することができます。

● 4 で、「全て選択」にタッチすると、すべての登録地点が選択されます。また、「全て解除」にタッチすると、登録地点の選択が解除されます。

文字の入力



- ① **かな**、**カナ**、**英数**、**記号**
入力する文字の種類を切り替えます。

② **小文字**
ひらがなまたはカタカナ入力時には拗音（や、ゅ、よなど）や促音（っ）などを入力します。アルファベットの入力時には小文字を入力します。

③ **変換**
入力した文字を変換します。

④ **無変換**
入力した文字を変換せずに確定させます。

⑤ **決定**
文字列を確定し、登録地点編集画面に戻ります。

⑥ 戻る
この画面での文字入力を破棄し、登録地点編集画面に戻ります。

⑦ BS
カーソルの左の1文字を削除します。
タッチし続けると、入力したすべての文字を削除します。

⑧ カーソルを左右に移動します。

⑨ **カーソル**

⑩ **表示エリア**
確定した文字列や入力した文字列が表示されます。



- ③ **変換**にタッチすると、候補が表示されます。



候補にタッチすると、表示エリアに表示されます。
[閉じる]にタッチすると、変換を中止し、変換画面が閉じます。



カーナビ

VICS情報を見る

VICS情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。VICS情報を受信すると、現在地の地図画面上にVICS情報が自動的に表示されます。道路交通情報などのVICS情報の表示、受信FM局の選局などの設定はVICSメニュー画面から行います。

VICS情報の内容と種類

 渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供されるVICS情報は次の3つのレベル(種類)があります。

■ レベル1 (文字型情報)

情報が文字で表示されます。

■ レベル2 (簡易図形型情報)

道路地図の模式図で情報が表示されます。

■ レベル3 (地図表示型情報)

ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

VICS情報の提供方法

VICS情報は、FM多重放送(NHK-FM)で提供されています。

緊急情報の割り込み表示について

緊急情報や注意警戒情報を受信すると、表示中の画面に自動で割り込み表示されます。

[閉じる]にタッチすると割り込み情報表示が消えます。



- 緊急情報は[閉じる]にタッチするまで表示されています。
- 注意警戒情報は、約15秒経過すると自動的に表示が消えます。

VICS情報利用上の注意

以下の点に注意して利用してください。

■ FM多重放送

- ・各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所(雑音、マルチパスなどによる)では、受信困難になることがあります。
- ・情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります(情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります)。
- ・放送時間外は利用できません。

地図に表示されるVICS情報

VICS情報を受信すると、地図画面に表示されます。

地図表示型(レベル3)情報の表示

FM VICS情報(標準)は、自動的に地図上に表示されます。



① 駐車場情報

赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

② 渋滞情報

赤色：渋滞
橙色：混雑



カーナビ

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは次のとおりです。

事故	通行止め	大型通行止め	路上障害	チェーン規制	故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限	火災
凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止	片側交互通行	駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車	駐車場不明	SA/PA閉鎖
SA/PA混雑	SA/PA空き	SA/PA満車	SA/PA不明	その他の規制	工事	徐行	速度規制	対面通行	作業	
背景橙色	背景青色	背景赤色	背景黒色							



- VICSのマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ(<http://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICS情報を受信/表示できない場合があります。
- 表示するVICS情報を設定できます(☞ P78)。
- 地図表示型(レベル3)情報を表示できる地図の縮尺は10m～1kmです(一般道では10m～500mです。また、駐車場情報は10m～200mで表示します)。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICSが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。

VICS情報を見る

地図上のVICS情報を見るときは

地図画面に表示されたVICSの規制/障害情報マークから情報を見ます。

1 規制/障害マークにタッチします。

地点情報表示に規制情報が表示されます。



地図でマークが重なっている場合は、地点情報表示のマークにタッチすると、表示する情報が切り替ります。

2 さらに詳しく見るとときは、[地点情報]にタッチします。

3 [詳細]にタッチします。



VICS情報の表示方法を設定する

VICS情報の表示方法を設定します。

▶ ナビ設定(地図)メニューを表示します

【メニュー】

1 [VICS]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
渋滞情報の表示	する*	一般道路の渋滞情報(レベル3)を地図上に表示します。
:一般道	しない	表示しません。
渋滞情報の表示	する*	高速道路の渋滞情報(レベル3)を地図上に表示します。
:高速道	しない	表示しません。
規制情報の表示	する*	交通規制情報(レベル3)を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
駐車場情報の表示	する*	駐車場情報(レベル3)を地図上に表示します。
	しない	表示しません。

* お買い上げ時の設定

VICS图形/文字情報を表示する

FM VICSで受信したVICS情報(文字型情報/簡易图形型情報)を表示します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 情報・設定

1 [VICS情報]にタッチします。



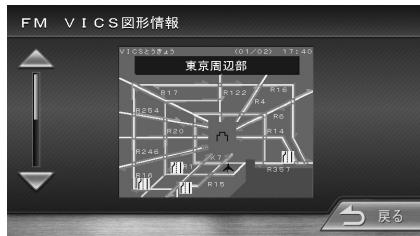
2 表示するVICS情報を選んでタッチします。



FM VICS图形情報/文字情報の表示

見たい情報の番号のボタン([1] ~ [5])にタッチすると、情報が表示されます。

《图形情報》



《文字情報》



VICS情報を見る

FM VICS局の選局方法を切り替える

FM VICS局の選局方法(自動選局/手動選局)を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

▶ VICS情報画面を表示します

[メニュー]  [情報・設定]  [VICS情報] 

1 [自動]または[手動]にタッチします。



2 手動選局時は、◀または▶にタッチして受信周波数を設定します。



- 自動選局に設定すると、現在地の都道府県に合わせて、FM VICS局が自動的に選局されます。このため、広域で移動する場合は自動選局の方が便利です。
- 手動選局に設定していると、設定した周波数以外ではVICS情報を受信できなくなります。
- 手動選局は、県境付近を走行中でFM VICS局を自動変更されたくない場合などに便利です。手動選局に設定すると、FM VICS局の受信周波数は変化しません。このため、移動してその周波数の電波を受信できなくなると、VICS情報は受信できません。

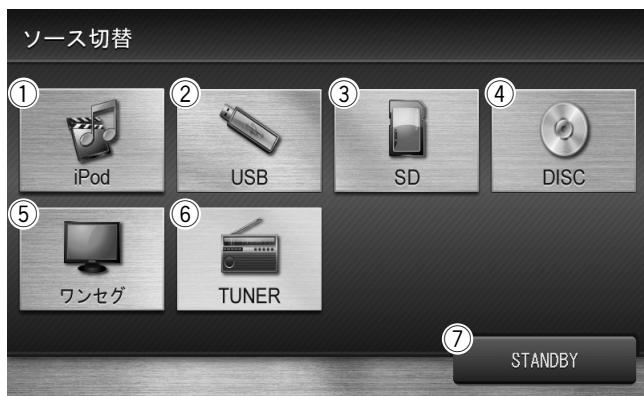


カ
ー
ナ
ビ

ソース切り替え

ソース切り替え画面を表示する

【SRC】を押すと、ソース切り替え画面が表示されます。



接続されているiPodを再生します (☞ **P98**)。



USB端子に接続されているUSB機器のオーディオファイルを再生します (☞ **P94**)。



SDカードのオーディオファイルを再生します (☞ **P95**)。



音楽CDまたはCD-Rなどに保存されているオーディオファイルを再生します (☞ **P90**)。



ワンセグ放送を受信します (☞ **P86**)。



ラジオ放送を受信します (☞ **P83**)。



AV機能をオフ(STANDBY)にします。音声も映像もオフになります。

【SRC】を押し続けても、AV機能をオフ(STANDBY)にできます。

【SRC】を押してソース切替画面でソースを選択すると、AV機能オフ(STANDBY)は解除されます。また、【SRC】を押し続けても解除されます。

ラジオ

ラジオを聞く・操作する

ラジオ放送(FM/AM、交通情報)を受信します。

▶ ソースをラジオに切り替えます



《TUNER受信画面》



- ① プリセットモード
- ② ステレオ受信表示(FMのみ)
- ③ 電波の強さ
- ④ 受信中の放送局
- ⑤ プリセットボタン

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
1 ~ 8 (プリセット ボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
AM FM	受信するバンドを選択します。
交通情報	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します(☞ P85)。
< >	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します(マニュアル選局)。
◀ ▶	タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
(スキップ/ サーチボタン)	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中・・・」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します(オート選局)。もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
プリセット 切替	プリセットモード(エリア/ユーザー)を切り替えます。 エリアモードでは、登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が8局まで表示されます。 ユーザーモードでは、ユーザーがプリセットした放送局が表示されます。
リスト	エリアモード時に、登録データから取得した放送局をリストで表示します(☞ P85)。

- エリアモード時のプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局(コミュニティFM局を除く)が周波数の低い順に最大8局までが表示されます。

- 簡易AV表示の表示方法については33ページをご覧ください。



放送局をプリセットする

プリセットボタンに放送局を手動で登録(プリセット)します。

1 プリセットする放送局を受信します。



2 [プリセット切替]にタッチして、ユーザー プリセットモードに切り替えます。



すでにユーザー プリセットモードの場合は不要です。

3 登録先のプリセットボタンに約2秒以上タッチし続けます。



- プリセットした放送局は、ユーザー プリセットモードでプリセットボタンにタッチすると選局できます。
- エリアモードでは、放送局を手動で登録することはできません。

リストから放送局を選局する

エリアプリセットモードのプリセットリストから受信する放送局を選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 受信する放送局を選んでタッチします。



● リストに表示されるアイコンは次のとおりです。

1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

FM : コミュニティFM局

交通情報を受信する

交通情報を受信します。

交通情報は1620kHzまたは1629kHzで放送されますが、受信状態の良いほうが自動的に選択されます。

1 [交通情報]にタッチします。



● 周波数のボタンまたはスキップ/サーチボタンにタッチすると、受信する周波数を手動で切り替えることができます。

● 交通情報の音量は、他のソースと独立して調整できます。



ワンセグとは

移動体向け地上デジタル放送のことです。
1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分け、
そのうちの1セグメントを移動体向けに利用している
ことから「ワンセグ」と呼ばれます。
ワンセグでは、映像・音声と共にデータ放送が放送さ
れています。EPG（電子番組表）、双方向データサー
ビス、データ放送には対応していません。

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などによ
り提供されるサービスです。
- ワンセグは、受信エリアが限定されます。また、受
信エリア内でも、受信障害などがある環境では受信
できないことがあります。
- ワンセグの詳細については、下記のホームページを
ご覧ください。
社団法人 地上デジタル放送推進協会
<http://www.dpa.or.jp/>
- 放送局によっては実際のワンセグ放送を行ってい
ないところもあります。そのような放送局では、受
信しても映像が映りません。



- ワンセグは画面が小さい移動体向けの放送サービスの
ため、画質が荒く感じられたり、映像の動きがなめらか
でなかつたりすることがあります。
- ワンセグ画面の明るさ、画質調節などはできません。
- 受信エリア外や放送休止中、または受信状態が悪くワ
ンセグが映らないときは、「現在放送されていないか、
電波が弱いため映りません」と表示されます。

ワンセグを見る

ワンセグを受信します。

▶ ワンセグを受信します

[SRC] ➡ ワンセグ

《ワンセグ受信画面》



《ワンセグ受信画面(スキップ/サーチ)》



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については33 ページをご
覧ください。

ワンセグを操作する

テレビ画面の中央部にタッチすると、ワンセグ操作ボタンが表示されます。

《ワンセグ操作ボタン1》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	ワンセグ操作ボタンを消します。
サービス	受信中のチャンネルのサービスを切り替えます。 (複数のサービスがないときは切り替えることはできません。)
次へ▼	ワンセグ操作ボタン2を表示します。
(スキップ/サーチボタン)	前または次のプリセット局を選局します。 タッチし続けると、受信可能な放送局を受信します。
プリセット 切替	プリセットモード(エリア/ユーザー)を切り替えます。 エリアモードでは登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。 ユーザーモードではユーザーがプリセットした放送局が表示されます。
プリセット ボタン	プリセットされている放送局に切り替えます(P88)。

《ワンセグ操作ボタン2》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
音声	ワンセグ操作ボタン1を表示します。 タッチするごとに次のように切り替わります。 音声 1 主音声 音声 1 副音声 音声 1 主音声+副音声 音声 2 主音声 音声 2 副音声 音声 2 主音声+副音声 (戻る) 番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
字幕	タッチするごとに次のように切り替わります。 字幕なし 字幕 1 字幕 2 番組によって、字幕の有無、表示される字幕の種類は異なります。
リスト	チャンネルリストから放送局を選びます(P89)。



AV

放送情報表示について

表示される情報について説明します。



① プリセットモード名

② 音声および字幕

受信している音声の種類と字幕の種類が表示されます。

③ 電波の強さ

④ プリセット番号

Ⓐ ⑤ チャンネル番号

⑥ 受信している放送局名

⑦ 番組名

放送局をプリセットする

プリセットボタンに放送局を手動で登録(プリセット)します。登録は、プリセットモードがユーザー mode のときのみできます。

1 プリセットする放送局を受信します。



スキップ/サーチボタンをタッチし続けると、受信可能な放送局を受信します。

2 [プリセット切替]にタッチして、ユーザー mode に切り替えます。



すでにユーザー mode の場合は不要です。

3 登録先のプリセットボタンに約2秒以上タッチし続けます。



- プリセットした放送局は、ユーザープリセットモードでプリセットボタンにタッチすると選局できます。
- エリアモードでは、放送局を手動で登録することはできません。
- 送信チャンネルが変更になった場合は、プリセット登録しなおしてください。

リストから放送局を選局する

チャンネルリストで放送局を選局します。

▶ ワンセグ操作ボタン1を表示します

1 [プリセット切替]にタッチして、ユーザーまたはエリアを選択します。



2 [次へ]にタッチして、ワンセグ操作画面2を表示します。

3 [リスト]にタッチします。



4 受信する放送局を選んでタッチします。



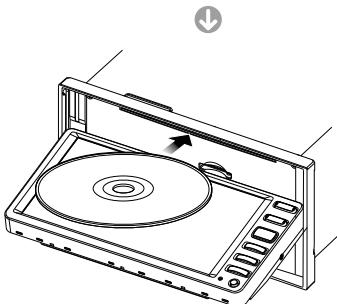
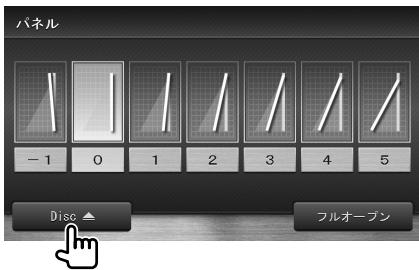
ディスク

ディスクを出し入れする

ディスク(音楽CD、CD-Rなどの記録型ディスク)を出し入れします。

1 【▲】(オープンキー)を押します。

2 [Disc▲]にタッチします。



ソースが“DISC”に切り替わり、再生が始まります。

ディスクを取り出すときは

ディスクが入っているときに**1、2**を操作すると取り出せます。



- ディスクを挿入すると、フロントパネルは設定されている角度に自動的に戻ります。
- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約15秒後に自動的に引き込まれます。

ディスクが取り出せないときは

1 メッセージが表示されるまで
【▲】(オープンキー)を押し続けます。

2 [はい]にタッチします。



3 ディスクを取り出します。



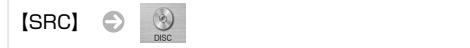
- ディスクを強制イジェクトした場合は、通常のイジェクトと異なり、約15秒たってもディスクは引き込まれません。このため、落下することもありますので、必ずディスクは取り出してください。

音楽CDを再生する

音楽CDを再生します。

音楽CDの出し入れについては90 ページをご覧ください。

▶ CD再生画面を表示します



《CD再生画面》



① トラック番号

② 演奏時間

③ シークバー

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
◀ ▶	前または次の曲を再生します(スキップ)。
(スキップ/サーチ)	タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
▶/II	再生または一時停止(ポーズ)します。
X RDM	ランダムプレイをオン/オフします。オンのときには、音楽CD内の全曲がランダムな順番で再生されます。
REP	リピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。再生する曲をリストから選択できます。



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- CDテキストは表示されません。



- 簡易AV表示の表示方法については33 ページをご覧ください。



オーディオファイルディスクを再生する

オーディオファイルが保存されているディスクを再生します。

オーディオファイルの再生

《オーディオファイル再生画面》



- ① 音声形式
- ② フォルダ番号
- ③ ファイル番号
- ④ 演奏時間
- ⑤ アルバム名(フォルダ名)
- ⑥ 曲名(ファイル名)
- ⑦ アーティスト名
- ⑧ シークバー

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については33 ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
◀◀	前または次のファイルを再生します(スキップ)。
(スキップ/サーチボタン)	タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
▶/II	再生または一時停止(ポーズ)します。
▶	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
▶	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
RDM	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順番で再生されます。
REP	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
REP	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。 再生するファイルをリストから選択できます(P93)。



- フォルダランダムプレイ、フォルダリピートプレイ、ファイルリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- 曲名、アルバム名、アーティスト名は、情報があるときに表示されます。
- オーディオファイルディスクでのアルバムアートは情報があっても表示することはできません。
- ⑤、⑥、⑦を表示しているときで、全ての文字が表示されていないときは、その項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、⑤と⑦は表示されません。⑥は表示されますが、スクロールはできません。

再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。

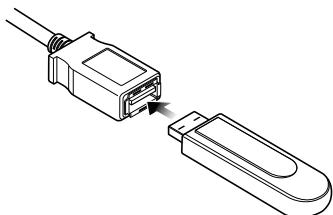


- 「トップ」にタッチすると最上位階層へ、「一つ上」にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- フォルダリストで「▶」にタッチすると、フォルダの先頭のファイルから再生されます。

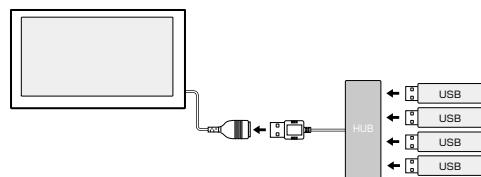


USB機器を接続する/外す

USB機器を接続または取り外します。



本機では、USBケーブルにUSBハブを接続して最大4つのUSB機器を接続することができます。



複数のUSB機器を接続した場合は、USB再生画面の[デバイス切替]にタッチして再生するUSB機器を切り替えることができます(☞ P97)。

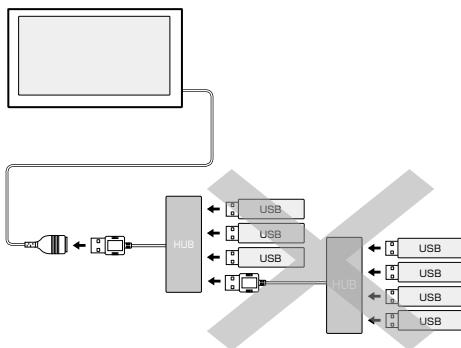
USB機器を取り外すときは

ソースをUSB以外に切り替えてから、USB機器を取り外します。

USBソースのまま取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。

使用上のご注意

- USBハブは、USBケーブルに2台以上接続しないでください。



● 消費電流の大きい機器をUSBハブに接続すると動作しない場合があります。この場合はUSBケーブルに直接接続してください。

● USBハブを使って接続するときは、USBハブを本機のUSBケーブルに接続してから、USB機器をUSBハブに接続してください。
USBハブにUSB機器を接続した状態で本機のUSBケーブルに接続しないでください。



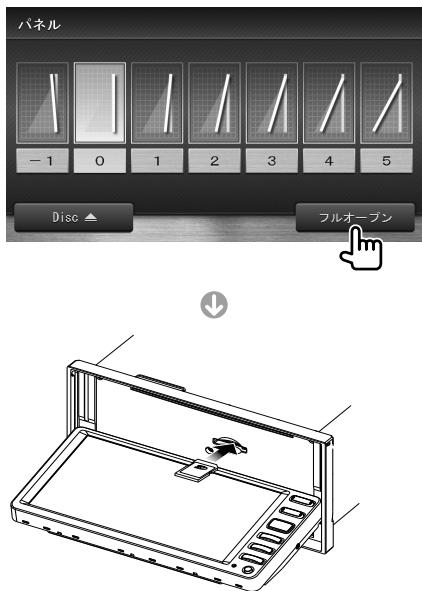
● USB機器とiPodを同じUSBハブに接続することもできます。

SDカードを出し入れする

SDカードを出し入れします。

1 【▲】(オープンキー)を押します。

2 [フルオープン]にタッチします。



SDカードは、止まるまで奥に押し込んでください。

3 【▲】(オープンキー)を押してフロントパネルを閉じます。

SDカードを取り出すときは

ソースをSD以外に切り替えて、上記の**1**、**2**の操作を行ってSDカードを取り出します。

SDソースのまま取り出すと、SDカード内のデータが破損する場合があります。

SDカードを取り出すときは、いったん押し込んでからつまんで引き出してください。



- フルオープン状態から閉じるときにフロントパネルに触ると、安全装置が働き、フロントパネルが開きます。
- フルオープンのままで電源をオフ(ACCオフ)にすると、フロントパネルは開いたままになります。
- フルオープンの状態でディスクを挿入しても、フロントパネルは自動的には閉じません。



AV

オーディオファイルを再生する

USB機器またはSDカードに保存されているオーディオファイルを再生します。

▶ USBまたはSD再生画面を表示します

[SRC] または

オーディオファイルの再生

《USB再生画面》



《SD再生画面》



① ソースメディア名(USB/SD)

② 音声形式

③ フォルダ番号

④ ファイル番号

⑤ 演奏時間

⑥ アルバム名

⑦ 曲名

⑧ アーティスト名

⑨ シークバー

⑩ アルバムアート画像

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



● 簡易AV表示の表示方法については33 ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します(スキップ)。
(スキップ/サーチボタン)	タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
デバイス切替 (USBソースのみ)	複数のUSB機器を接続しているときに、再生するUSB機器を切り替えます。接続した機器の最初のファイルから再生されます。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生されます。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生されます。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順序で再生されます。
	ファイルリピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在のファイルが繰り返し再生されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルをリストから選択できます。



- フォルダランダムプレイ、ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- 曲名、アルバム名、アーティスト名、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- ⑥、⑦、⑧を表示しているときで、全ての文字が表示されていないときは、その項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、⑥と⑧は表示されません。⑦は表示されますが、スクロールはできません。

再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。

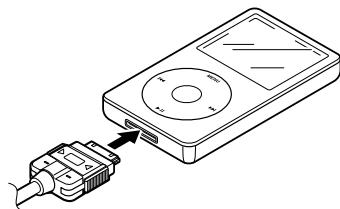


- にタッチすると最上位階層へ、にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- フォルダリストで にタッチすると、先頭のファイルから再生します。



iPodを接続する/外す

iPodを接続または取り外します。



iPod接続ケーブルについて

- Dockコネクタ(30ピン)搭載モデル

音楽再生用:

Apple DockコネクタUSBケーブル

音楽/ビデオ再生用:

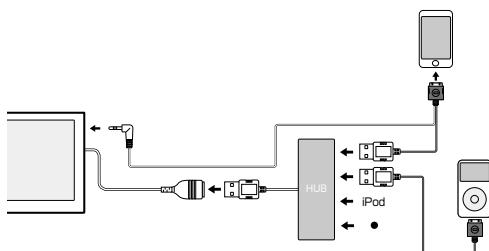
別売の純正iPod接続用ケーブル

- Lightning™コネクタモデル

音楽再生対応のみ:

Apple Lightning USBケーブル

本機では、USBケーブルにUSBハブを接続して最大4つのiPodを接続することができます。



複数のiPod機器を接続した場合は、iPod再生画面の[デバイス切替]にタッチして再生するiPodを切り替えることができます (☞ **P99**, **P101**)。

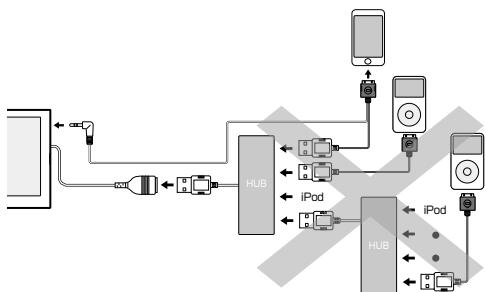
iPodを取り外すときは

ソースをiPod以外に変えてから、iPodを取り外します。iPodソースのまま取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。

ご使用上のご注意

- iPodを充電するときは、USB接続ケーブルに直接接続してください。USBハブを介して接続すると充電できません。

- USBハブは、USBケーブルに2台以上接続しないでください。



- USBハブを使って接続するときは、USBハブを本機のUSBケーブルに接続してから、iPodをUSBハブに接続してください。

USBハブにiPodを接続した状態で本機のUSBケーブルに接続しないでください。

- Apple DockコネクタUSBケーブル、Apple Lightning USBケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で変形や故障の原因になります。



- USB機器とiPodを同じUSBハブに接続することもできます。

iPodを再生する

iPodを再生します。

▶ iPod再生画面を表示します

【SRC】 ➡ iPod

曲を再生する

《iPod再生画面》



- ① 曲番号/全曲数
- ② 演奏時間
- ③ アルバム名
- ④ 曲名
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ シークバー
- ⑦ アルバムアート画像
- ⑧ iPodモード表示

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



- 簡易AV表示の表示方法については33 ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
◀◀	前または次の曲を再生します(スキップ)。
▶▶	タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
▶/II	再生または一時停止(ポーズ)します。
モード	タッチするたびにiPodモードが切り替わります。 本機でiPodを操作する ↓ iPod側で操作する(HANDモード) 本機の再生操作ボタンは押せなくなります。
モード	iPodからの音声または映像を出力する(Externalモード) iPhoneアプリで音声や映像を再生する際にご使用ください。本機の再生操作ボタンは押せなくなります。iPodから操作してください。
オーディオブック 標準	それぞれの画面については101 ページをご覧ください。
RDM	オーディオブックの読み上げ速度(遅い/標準/早い)を切り替えます。
RDM	曲のシャッフル再生をオン/オフします。
REP	アルバムシャッフル再生をオン/オフします。
REP	リピート再生をオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
デバイス切替	複数のiPodを接続しているときに再生するiPodを切り替えます。
リスト	再生リストを表示します。 再生する曲をカテゴリーから選択できます(☞ P100)。



- シャッフル、リピート再生がオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- 曲名、アルバム名、アーティスト名、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- ③、④、⑤を表示しているときで、全ての文字が表示されていないときは、その項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、③と⑤は表示されません。④は表示されますが、スクロールはできません。



再生する曲またはビデオをリストで選択する

iPod本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機側で選択することができます。

1 [リスト]にタッチします。



2 ▶ (ビデオリスト) または ▶ (ミュージックリスト) を選択します。



3 カテゴリー、または再生する曲/ビデオファイルを選んでタッチします。



● 2 以降で表示されるカテゴリー/サブカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。また、ビデオリストのサブカテゴリーは接続するiPodによって異なります。

● [◀ トップ] にタッチすると最上位階層へ、[◀ 一つ上] にタッチすると一階層上のリストに戻れます。

● [▶] にタッチすると、曲またはビデオが再生されます。

ビデオを再生する

iPodビデオを再生するときはリストから選んでください(☞ P100)。

《iPodビデオ再生画面》



《iPodビデオ再生画面でのスキップ/サーチ》



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。



● 簡易AV表示の表示方法については33 ページをご覧ください。

iPodビデオ再生画面の中央部にタッチすると、iPodビデオ操作ボタンが表示されます。

《iPodビデオ操作ボタン》



- ① ファイル番号/全ファイル数
- ② 再生時間
- ③ アルバム名
- ④ ファイル名
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ シークバー
- ⑦ iPodモード表示
モードボタンにタッチするたびに次のように画面が切り替わります。



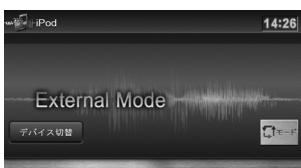
曲を再生しているときは曲の再生画面になります。



《HANDモード》



《Externalモード》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します(☞ P102)。
◀◀	前または次のビデオを再生します(スキップ)。
▶▶	タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
▶/II	再生または一時停止(ポーズ)します。
モード	タッチするたびにiPodモードが切り替わります。 本機でiPodを操作する
iPod側で操作する(HANDモード)	本機の再生操作ボタンは押せなくなります。
Externalモード	iPodからの音声または映像を出力する(Externalモード) iPhoneアプリで音声や映像を再生する際にご使用ください。本機の再生操作ボタンは押せなくなります。iPodから操作してください。
X RDM	シャッフル再生をオン/オフします。
◎ RDM	アルバムシャッフル再生をオン/オフします。
REP	リピート再生をオン/オフします。 オンのときには、現在のビデオが繰り返し再生されます。
デバイス切替	複数のiPodを接続しているときに再生するiPodを切り替えます。
リスト	再生リストを表示します。 再生するビデオをカテゴリーから選択できます(☞ P100)。



- シャッフル、リピート再生がオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- iPodビデオ再生中に本機の電源をオフにすると、電源をオンしたときにiPodビデオは再生されません。先頭の曲から再生されます。
- iPod nano (1st generation) はiPodモードの切り替えはできません。本機からの操作のみとなります。



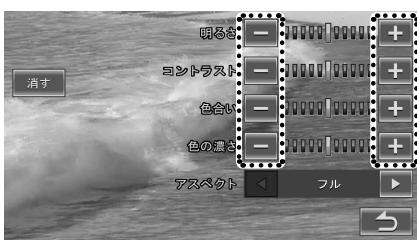
画質を調整する

iPodビデオの画質を調整します。

1 [画質]にタッチします。



2 [-]または[+]にタッチして、各項目を調整します。



明るさ：

明るさを調整します。

[+]にタッチすると明るくなり、[-]にタッチすると暗くなります。

コントラスト：

コントラストを調整します。

[+]にタッチするとコントラストが強くなり、[-]にタッチすると弱くなります。

色合い：

色相を調整します。

[+]にタッチすると赤が強くなり、[-]にタッチすると緑が強くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

[+]にタッチすると濃くなり、[-]にタッチすると淡くなります。

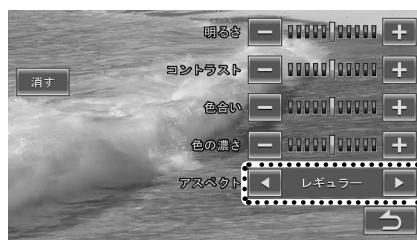
3 映像画面に戻る場合は[消す]に、操作画面に戻る場合は[戻す]にタッチします。

画面表示サイズを変更する

iPodビデオの画面表示サイズを変更します。

1 「画質を調整する」の2の画面を表示します。

2 「アスペクト」の[◀]または[▶]にタッチして、サイズを調整します。



レギュラー：

4:3の比率で表示します。

フル：

画面いっぱいに表示します。



AV

映像サイズイメージ

	16:9画像	4:3画像	その他
アスペクト設定			
レギュラー			
フル			



AV

サウンド設定

サウンドを設定する

車内の音響効果や音質を調整します。

サウンド設定は、AVソースを選択しているときに行つてください。スタンバイのときには設定できません。

▶ 情報・設定メニューを表示します

[メニュー] ➔ 情報・設定

1 [サウンド設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ポジション	リスニングポジションを設定します (☞ P107)。
スピーカー	スピーカーの構成を設定します (☞ P105)。
イコライザー	音質を設定します (☞ P109)。
車両設定	車両のタイプを設定します (☞ P105)。
バランス/フェーダー	左右/前後の音量バランスを設定します (☞ P104)。
ソースレベル	各AVソースの音量をそろえます (☞ P110)。
オーディオ効果	音響効果を設定します (☞ P111)。

バランス/フェーダーを設定する

左右および前後の音量バランスを調整します。

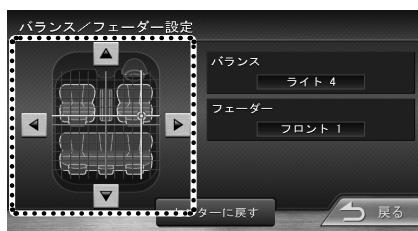
▶ サウンド設定メニューを表示します

[メニュー] ➔ 情報・設定 ➔ サウンド設定

1 「バランス/フェーダー」の[設定]にタッチします。



2 バランスを合わせる位置にタッチします。



◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを、
▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを調整することもできます。

[センターに戻す]にタッチすると、左右/前後ともに中央になります。

カータイプを設定する

車両タイプを設定します。

▶ サウンド設定メニューを表示します

【メニュー】 ➔ 情報・設定 ➔ サウンド設定

1 [車両設定]にタッチします。



2 車両タイプを選んでタッチします。



選択した車両タイプに合ったDTAが設定されます。

さらに詳細に調整したい場合は、リスニングポジションの設定を行ってください
(☞ P107)。

スピーカー構成を設定する

車両のスピーカー構成を設定します。

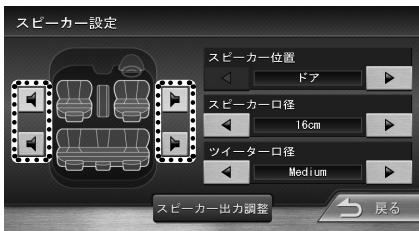
▶ サウンド設定メニューを表示します

【メニュー】 ➔ 情報・設定 ➔ サウンド設定

1 [スピーカー]にタッチします。



2 設定するスピーカーを選んでタッチします。



3 「スピーカー位置」の◀または▶にタッチして、スピーカーの位置を設定します。



サウンド設定

- 4 「スピーカー口径」の◀または▶にタッチして、スピーカーの口径を設定します。



口径が不明なときは“16cm”を選択します。
スピーカーがないときは“なし”を選択します。

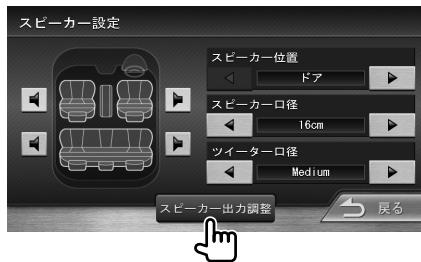
- 5 フロントスピーカーの場合のみ、「ツイーター口径」の◀または▶にタッチして、ツイーターの口径を設定します。



- フロントスピーカーの口径は“なし”（スピーカーなし）には設定できません。
- リアスピーカーの口径を“なし”に設定している場合は、リアスピーカーのスピーカー出力調整はできません。

スピーカー出力を調整するときは
フロント/リアスピーカーのカットオフ周波数、スロープ(減衰率)、スピーカーレベルを調整します。

- 1 [スピーカー出力調整]にタッチします。



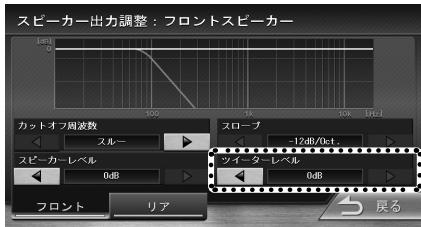
- 2 調整するスピーカーにタッチします。



- 3 ◀または▶にタッチして、フロント(またはリア)スピーカーの各項目を設定します。



- 4** スピーカー設定でフロントスピーカーにツイーターの口径が設定されている場合のみ、◀または▶にタッチして、ツイーターの出力レベルを設定します。



- カットオフ周波数とは、フロント/リアスピーカーの場合はその周波数よりも低い成分をカットする周波数です。
- スロープとは、カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率です。1オクターブ(oct)あたりの減衰率をdBで設定します。
- 各スピーカーやツイーターの出力レベルを変えると、トーンカーブ全体が上下に動きます。各スピーカーの出力レベルがそろるように調整します。

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。

ここでの設定を行う前に、カータイプを設定しておいてください(☞ P105)。

▶ サウンド設定メニューを表示します

【メニュー】 ◀ 情報・設定 ◀ サウンド設定

- 1** [ポジション]にタッチします。



- 2** 設定するリスニングポジションを選んでタッチします。



選択したリスニングポジションに合ったDTA (Digital Time Alignment) が設定されます。DTA値は微調整することもできます(☞ P108)。

DTAとは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。



サウンド設定

リスニングポジションのDTAを微調整するときは
実際のリスニングポジションに合わせて、DTAを微調整することもできます。

▶ リスニングポジションを選択します

1 [ポジション調整]にタッチします。



2 調整するスピーカーのボタンにタッチします。



3 「スピーカー距離調整」または「レベル調整」の◀または▶にタッチして調整します。



「スピーカー距離調整」で調整する場合は、実際に測った距離を入力します。

この際、ポジションが「全ての座席」を選択したときは全席の中央からの距離、「フロント両座席」を選択したときは左右両座席の中央からの距離を指定します。

また、「レベル調整」で調整する場合は、音を聴きながら調整します。

4 2と3を繰り返して、すべてのスピーカーを設定します。



●リアスピーカーの口径が“なし”に設定されている場合は、リアスピーカーのDTAは調整できません。

●3で、[初期値に戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、調整中のリスニングポジションのすべてのスピーカー調整値が初期値に戻ります。

プリセットイコライザーを設定する

ソースごとに、プリセットイコライザーを設定します。

▶ サウンド設定メニューを表示します

設定するソース ➡ 【メニュー】 ➡ 情報・設定



1 [イコライザー]にタッチします。



2 プリセットイコライザーのジャンルを選んでタッチします。



ユーザーイコライザーを設定するときはプリセットイコライザーのカーブを変更したり、ユーザー独自のイコライザーカーブに設定することができます。

▶ イコライザ設定画面を表示します

設定するソース ➡ イコライザ設定画面を表示する

1 [イコライザ調整]にタッチします。



2 設定したいイコライザーカーブを画面でなぞります。

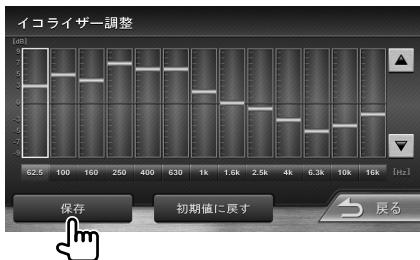


調整する周波数を選択してタッチし、▲または▼にタッチしてレベルを設定することもできます。



サウンド設定

3 [保存]にタッチします。



[初期値[戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。

[はい]にタッチすると、イコライザーカーブの設定はリセットされて“0”になります。

4 保存先を選択します。



ソースの音量バランスをそろえる

音楽CDの音量を基準に、各ソースの音量をそろえます。

▶ サウンド設定メニューを表示します

【メニュー】

1 「ソースレベル」の[設定]にタッチします。



2 現在のソースの + または - にタッチして、音量を調整します。



[初期値[戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。

[はい]にタッチするとすべてのソースレベルの調整はリセットされて“0”になります。

オーディオ効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

オーディオ効果は、AVソースを選択しているときに設定してください。スタンバイ(オーディオオフ)のときには設定できません。

▶ サウンド設定メニューを表示します



1 [オーディオ効果]にタッチします。



2 各項目の [◀] または [▶] にタッチして調整します。



3 [戻る]にタッチします。

サウンド設定メニューに戻ります。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
バスブースト	Level3	低音を増強するレベルを設定します。
	Level2	
	Level1	
スペースエンハンサー	Off*	バスブーストをオフにします。
	Large	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。
	Medium	ここでは、仮想空間の広さを設定します。
ラウドネス	Small	
	Off*	スペースエンハンサーをオフにします。
	High	小音量時に不足する低音と高音を補います。
エレベーション	Low	ここでは、そのレベルを設定します。
	Off*	ラウドネスをオフにします。
	High	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。
ハイウェイサウンド	Middle	ここでは、仮想スピーカーの位置(高さ)を設定します。
	Low	
	Off*	エレベーションをオフにします。
リアライザー	High	ロードノイズで消されがちな小さな音を大きくし、さらに低音を増強します。
	Middle	
	Off*	ハイウェイサウンドをオフにします。
サブリーム	Level3	ぼけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。
	Level2	ここではそのレベルを設定します。
	Level1*	圧縮された音楽に効果的です。
サブリーム	Off	リアライザーをオフにします。
	On	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。
	Off*	圧縮された音楽に効果的です。

* お買い上げ時の設定



- ソースが“TUNER”的ときには、スペースエンハンサーは設定できません。



システムを設定する

本機のシステムに関する項目を設定します。

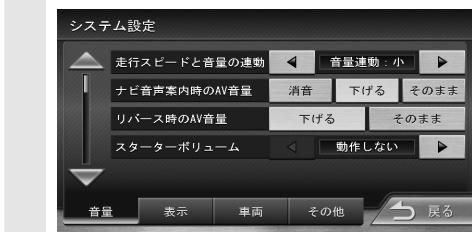
▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】  情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



- [音量]、[表示]、[車両]、[その他]にタッチすると、項目を切り替えることができます。



設定できる項目は次のとおりです。

音量

項目	選択肢	説明
走行スピードと音量の連動	連動しない 小* 中 大	車速に応じて、自動的に音量を上げます。 “連動しない”に設定すると、音量は変化しません。
ナビ音声案内時のAV音量	消音 下げる* そのまま	音声案内時にAVソースの音声を消します。 音声案内時にAVソースの音量を下げます。
リバース時のAV音量	下げる* そのまま	音声案内時でもAVソースの音量は変化しません。
スタートーポリューム	下げる そのまま	バックするときAVソースの音量を下げます。 バックするときでもAVソースの音量は変化しません。
動作しない*	動作しない* 更新間隔： 速	電源オンの時にAVの音量を一定量下げます。
更新間隔： 中	電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。「動作しない」に設定すると、音量は変化しません。	
更新間隔： 遅		

* お買い上げ時の設定

表示

項目	選択肢	説明
画面の明るさ：昼	-5 ~ +5*	昼画面(イルミオフ)の明るさを調整します。
画面の明るさ：夜	-5 ~ +1* ~ +5	夜画面(イルミオン)の明るさを調整します。
イルミの明るさ	Off, -4 ~ 0* ~ +5	キーイルミネーションの明るさを設定します。
映像画面/ 消灯画面の時計	表示する* 表示しない	iPodビデオの映像画面や画面オフ時に時計を表示します。 表示しません。

* お買い上げ時の設定

車両

項目	選択肢	説明
速度超過アラーム	Off	警告案内しません。
	低速On	約60km/hになったときに音声で警告案内します。
	高速On	約100km/hになったときに音声で警告案内します。
	低速/高速On*	約60km/hと、約100km/hになったときにそれぞれ音声で警告案内します。
パーキングブレーキアラーム	On*	パーキングブレーキをかけたまま発進したときに音声とメッセージで警告案内します。
	Off	警告案内しません。
リバースシフトアラーム	On*	ギアがリバース(バック)のときに音声とメッセージで案内します。 別売のバックモニターを接続している場合は音声のみの案内となります。
	Off	警告案内しません。
	On	別売のバックモニターが接続されているときに選択します。
バックモニター機能	Off*	バックモニターが接続されていないときに選択します。
バックモニター設定	—	バックモニターの設定をします。
車両ナンバー	軽*	車両ナンバーの分類番号を設定します。
	5・7	ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
	3	
	1	
ステアリングスイッチ([設定]にタッチすると設定項目が表示されます。)	ダイハツ標準*	ダイハツの標準設定を使用するときに選択します。
	ユーザー設定	学習を行った設定を使用するときに選択します。 (☞ P114)
示されます。)	使用しない	ステアリングスイッチを使用しないときに選択します。

* お買い上げ時の設定

その他

項目	選択肢	説明
操作音の出力	する*	画面のボタンにタッチしたときにピッという音を出します。
	しない	音を出しません(一部の音は鳴ります)。
ショートカットボタン	—	現在地図画面に表示されるクイックメニューに機能を割り当てます(☞ P33)。
	—	本機の起動のための暗証番号を設定/変更します(☞ P15)。
セキュリティインジケータ	On*	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケータの点滅をオンします。
	Off	セキュリティインジケータの点滅をオフします。
ユーザー設定の初期化	—	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。 初期化を行っても、暗証番号は消去されません。

* お買い上げ時の設定



システム設定

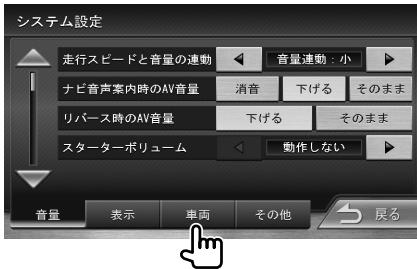
ステアリングスイッチを設定する

ステアリングスイッチを装備している車両は、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。お買い上げ時は「ダイハツ標準」に設定されています。そのままご使用になる場合は、次の設定は不要です。ユーザー独自の機能を割り当てる場合とステアリングスイッチを使用しないときは設定を行ってください。

▶ システム設定メニューを表示します

【メニュー】   

1 [車両]にタッチします。



2 「ステアリングスイッチ」の[設定]にタッチします。



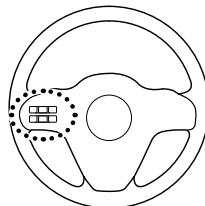
3 [学習]にタッチします。



ステアリングスイッチ学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

ステアリングスイッチは押さないでください。

4 機能を割り当てるステアリングスイッチのキーを約2秒以上押します。



5 割り当てる機能を、リストで選んでタッチします。



機能を割り当てるとき、ボタン名が割り当てた機能に変わります。

6 他のキーにも割り当てるには**4～5**を繰り返してください。

7 割り当てが終わったら、「学習を完了する」にタッチします。



- 学習を完了したあとでも割り当てた機能を変更することはできますが、機能を追加することはできません。追加したい場合は、割り当ての初期化を行ってください。（☞ P116）。
- ステアリングスイッチを使用しない場合は、**3**で[使用しない]を選択してください。

割り当てを変更する

独自に割り当てたキー設定を、学習完了後に変更することができます。

1 [キー割当て変更]にタッチします。



2 割り当てを変更するボタンを選んでタッチします。



3 割り当てる機能を、リストで選んでタッチします。



4 **2～3**を繰り返して、使用するボタンに機能を割り当てます。

5 [変更を完了する]にタッチします。



- **3**で、[未設定]を選択すると、割り当てを削除できます。



システム設定

ステアリングスイッチを設定する

割り当てを初期化する

ステアリングスイッチへのキーの割り当てを、お買い上げ時の状態に戻します。

1 [キー割当て変更]にタッチします。



2 [学習を初期化する]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。



- 学習を初期化すると、ステアリングスイッチの設定は「[ダイハツ標準]」になります。

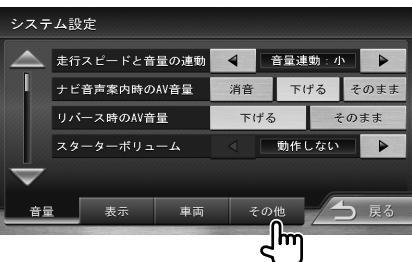
ユーザー設定の初期化

本機の設定をお買い上げ時の状態にもどします。
設定を初期化しても暗証番号は削除されません。

▶ システム設定メニューを表示します

【メニュー】 ➔ 情報・設定 ➔ システム設定

1 [その他]にタッチします。



2 「ユーザー設定の初期化」の[初期化]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。



システム設定

接続状態を確認する

本機の各種のケーブルの接続情報を表示します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

[メニュー] 情報・設定

[接続情報]にタッチします。



接続情報



接続情報が表示されます。

システム設定

表示または設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
車速パルス	デジタル*	車速パルスの設定をデジタルに切り替えます。
	アナログ	車速パルスの設定をアナログに切り替えます。
GPS		GPSアンテナの接続状態を表示します。正しく接続されていると、インジケーターが点灯します。
イルミネーション		イルミネーションコードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のライトスイッチをオンにしたときにインジケーターが点灯します。
パーキング		パーキング検出コードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のパーキングブレーキをかけたときにインジケーターが点灯します。
リバース		リバース検出コードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のギアをリバースに切り替えたときにインジケーターが点灯します。
ETC車載器		ETC車載器の接続状態を表示します。別売の本機対応ETC車載器が正しく接続されていると、インジケーターが点灯します。(☞ P120)
3モードカメラ		別売の3モードカメラが正しく接続されていると表示されます。カメラが通信中のときにインジケーターが点灯します。
センサー学習		センサーの学習状態を表示します。[初期化]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、センサーの学習をリセットできます。

* お買い上げ時の設定

センサーの学習について

本機は、GPSの情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。(☞ **P118**)。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物(建物、街路樹など)が少ない場所を走行してください。



- センサー学習中は、「学習中」と表示されます。この間は、自車マークの位置がずれたり、車速超過アラームの警告案内速度がずれる場合があります。学習を終了すると、「[学習中]」の表示は消えます。
- GPSアンテナの接続状態や、GPS情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます (☞ **P118**)。

データやソフトウェアのバージョンを確認する

地図などのデータやソフトウェアのバージョンを表示します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 ➔ 情報・設定

1 [バージョン情報]にタッチします。



バージョン情報が表示されます。



システム設定

ETC情報を確認する

ETC情報について

- 本機で対応しているETC車載器は、別売の「**ダイハツ純正**」ETC車載器です。また、ETC車載器を接続するには「**ダイハツ純正**」ETC通信ケーブルが必要です。
- ETC (Electronic Toll Collection System) は高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過するために発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

Op

オフション

ETC履歴/車載器情報を見る

ETCの利用履歴や登録情報を確認できます。

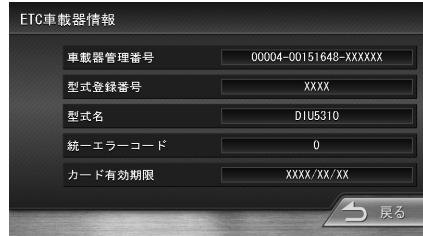
▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 情報・設定

1 [ETC情報]にタッチします。



車載器の情報を観るときは[ETC車載器情報]にタッチします。



- ETCの利用履歴は、100件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETCカードの挿入時のみ表示されます。

ETCの音声/料金表示を設定する

ETCの音声案内や料金表示を設定します。



- ETCの音声案内の音量は、ナビの音声案内の音量と連動しています。(☞ P59)。

▶ 情報・設定メニューを表示します

【メニュー】 情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [案内]にタッチします。



3 [ETC案内の音声出力]または 「ETC料金の表示」の[する]、[しない] にタッチします。



Op

オプション

バックモニターを使う

使用上のご注意

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- バックモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質、ガイド線を設定するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。
- ガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 本機で対応しているバックモニターは、別売の「**ダイハツ純正**」バックモニターまたは「**ダイハツ純正**」3モードカメラ（NMCK-W65Dのみ）です。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

Op

オフション

バックモニターの接続設定をする

バックモニターを接続しているときに設定します。

▶ システム設定メニューを表示します

【メニュー】 システム設定

1 [車両]にタッチします。



2 「バックモニター機能」の[On]にタッチします。



バックモニターの映像を表示する

バックモニターの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

■ダイハツ純正バックモニターを接続しているとき

- シフトレバーを“R”(リバース)にします。



目安線

目安線を消します。もう一度タッチすると表示します。

バックモニター映像画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

- 操作ボタンを消します。
- 映像の画質を調整します。(☞ P126)
- 警告文の表示位置を選択します。
- ガイド線を消します。もう一度タッチすると表示します。

■ダイハツ純正3モードカメラを接続しているとき

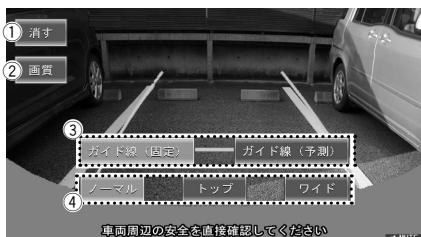
- シフトレバーを“R”(リバース)にします。



車両周辺の安全を直接確認してください

MUTE

バックモニター映像画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



車両周辺の安全を直接確認してください

MUTE

Op

オプション

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

- 操作ボタンを消します。
- 映像の画質を調整します。(☞ P126)
- ③、④の操作については125ページをご覧ください。

バックモニターを使う

バックモニターの設定をする

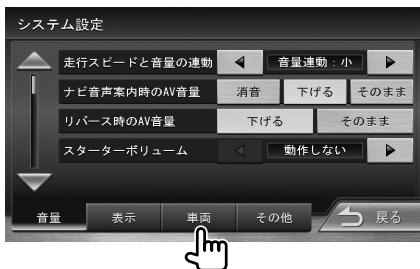
■ダイヤルモードでバックモニターを接続しているとき

ガイド線の調整を行います。

▶ システム設定メニューを表示します

【メニュー】 → [情報・設定] → [システム設定]

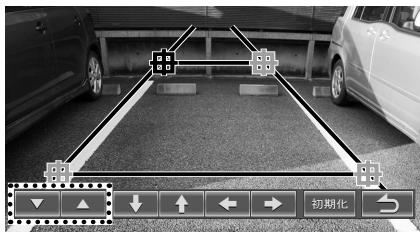
1 [車両]にタッチします。



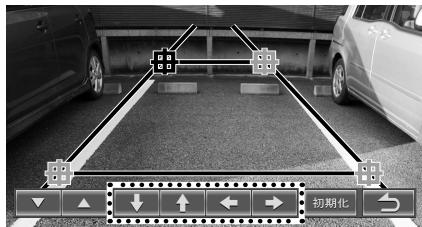
2 「バックモニター設定」の[設定]にタッチします。



3 ▼または▲にタッチして調整したいカーソル(■)を選択します。



4 選択したカーソル(■)を↓、↑、←、→にタッチしてガイド線を調整します。



選択しているカーソル(■)位置を上下左右に移動します。

初期化：カーソル(■)を初期の位置に戻します。

：調整ボタンを消して、ガイド線表示の画面に戻ります。

5 3と4を繰り返して、他のカーソル(■)位置を調整します。



●走行中、ガイド線調整はできません。

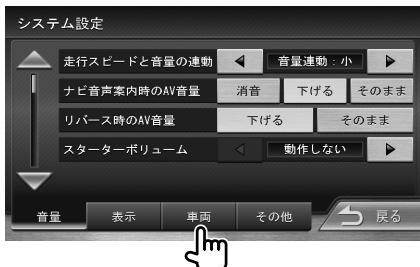
■ダイハツ純正3モードカメラを接続しているとき

ガイド線の表示/非表示とカメラ映像の表示方法(ビュー)の設定を行います。

▶ システム設定メニューを表示します

【メニュー】 ➔ 情報・設定 ➔ システム設定

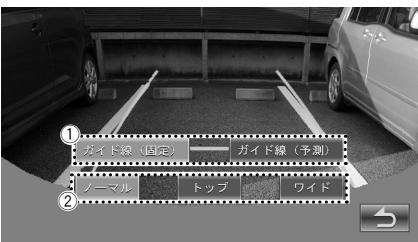
1 [車両]にタッチします。



2 「バックモニター設定」の[設定]にタッチします。



3 表示方法を設定します。



①ガイド線の表示/非表示を設定する

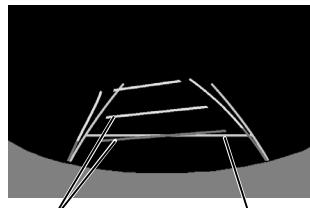
ガイド線(固定)

ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

ガイド線(予測)

ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

ガイド線(予測)は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



オプション

②表示方法(ビュー)を設定する

ノーマル / トップ / ワイド

画面の表示方法を切り替えます。



設定を終了して、システム設定メニューに戻ります。

Op

オプション

バックモニターを使う

画質を調整する

バックモニター映像の画質を調整することができます。

- [画質]にタッチします。



- または [+] にタッチして、各項目を調整します。



明るさ：

明るさを調整します。

[+] にタッチすると明るくなり、[-] にタッチすると暗くなります。

コントラスト：

コントラストを調整します。

[+] にタッチするとコントラストが強くなり、[-] にタッチすると弱くなります。

色合い：

色相を調整します。

[+] にタッチすると赤が強くなり、[-] にタッチすると緑が強くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

[+] にタッチすると濃くなり、[-] にタッチすると淡くなります。

Op

オフション

Op

オ
フ
シ
ヨ
ン

自車位置の測位精度について

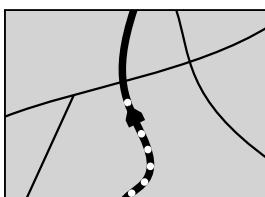
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路上に合わせる機能のことです。GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機は、GPSと自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

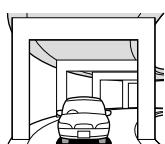
本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

GPS測位不能によって生じる誤差について

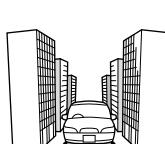
1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビル内の駐車場



2層構造の
高速道路の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

2) GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。

3) 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位ができないことがあります。

4) GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPSによる測位ができないことがあります。

GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。

GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、

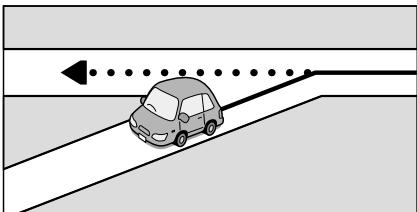
十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

2) GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下(地球の裏側)に位置している衛星の電波は物理的に受信できません。

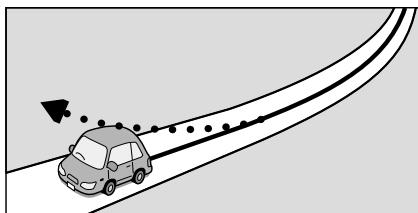
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

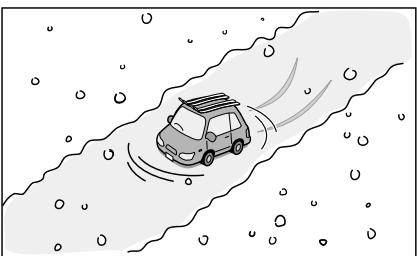
角度の小さいY字路を走行した場合



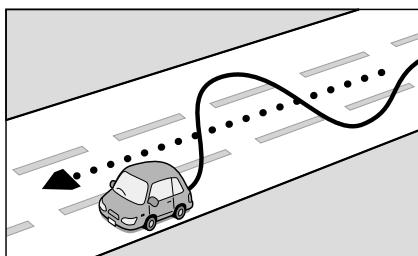
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



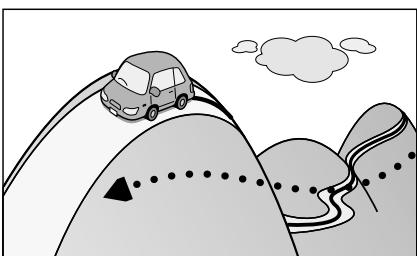
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



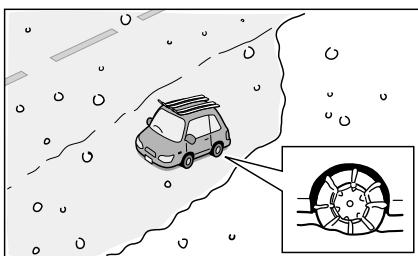
蛇行運転をした場合



勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合

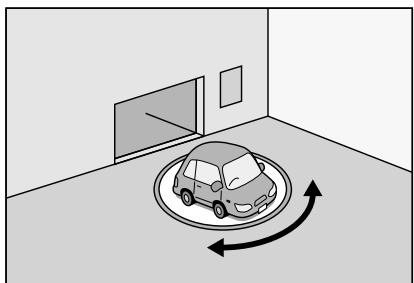


チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合

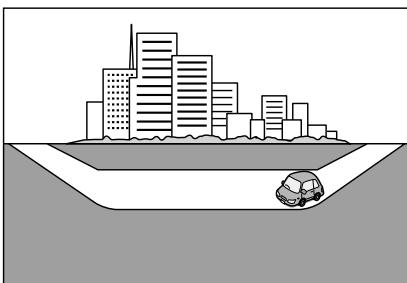


自車位置の測位精度について

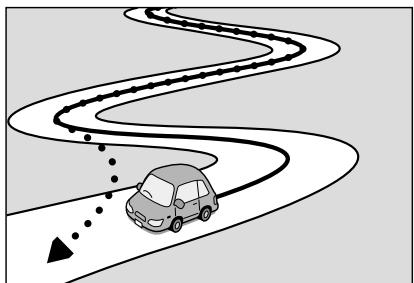
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



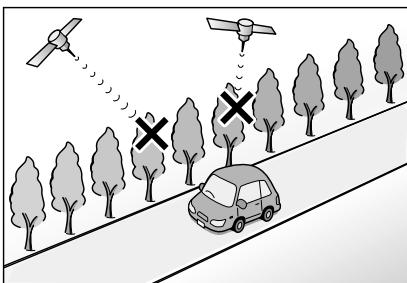
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



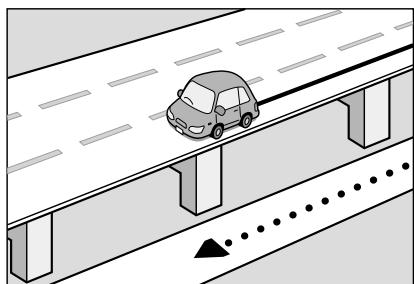
ヘアピンカーブが続いた場合



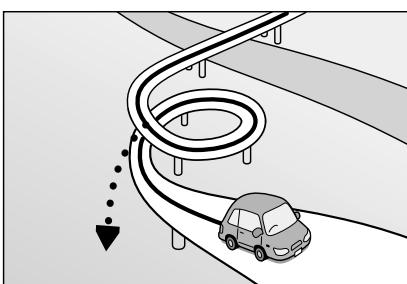
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



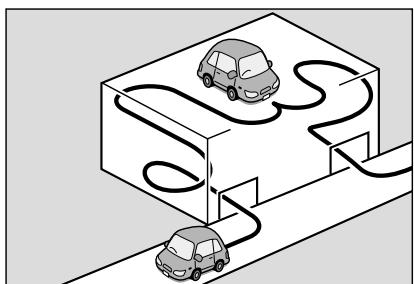
高速道路と側道などが隣接している場合



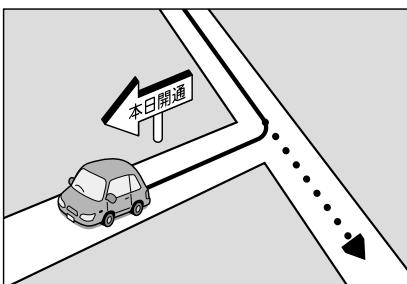
ループ橋などを走行した場合



立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合

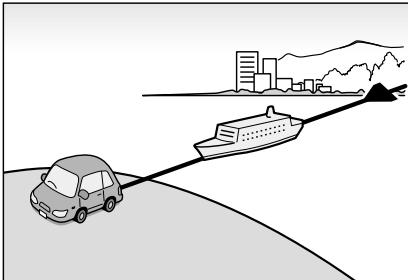


地図データにはない、新設道路を走行した場合

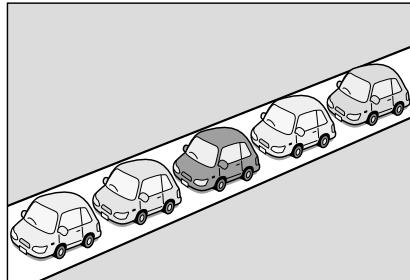


付録

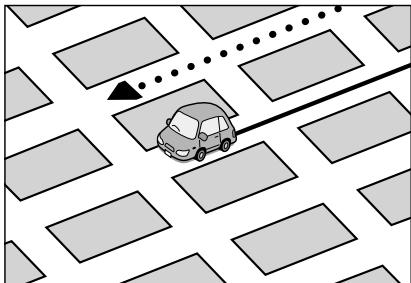
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。



付
録

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
●	信号機	⛵	マリーナ	◆	テーマパーク	💡	灯台
●	都道府県庁舎	▲	史跡名勝	▲	城・天守閣	■	ホール
●	市特別区庁舎	▲	城跡	▲	展望タワー	IC	スマートＩＣ
●	町村指定都市区庁舎	▲	神社	▲	温泉	■	その他の目的物
●	官庁公共施設	▲	寺院	▲	山頂	⌚	N T T
●	警察	▲	教会	▲	自衛隊	●	サーキット
●	消防	●	海水浴場	▲	墓地	●	テニスコート
●	学校	●	ゴルフ場	●	ボウリング場	●	ディスカウントストア
●	郵便局	●	スキー	●	サッカー	●	ビルアパート名称
●	病院	●	キャンプ	●	競馬場ウィンズ	●	道の駅
●	デパートスーパー	●	遊園地	●	大学	●	ヘリポート
●	カー用品店	●	動物園	●	短大	●	乗馬
●	I C	●	公園	●	高専	●	体育館
●	S A	●	ホテル	●	高校	●	牧場
●	P A	●	スタジアム	●	中学校	●	ホール
●	P	●	スポーツ施設	●	小学校	●	自動車学校
●	工場	●	植物園	●	その他学校	●	トンネル
●	飛行場	●	美術館	●	保健所	●	船着場(観光船等)
●	フェリー	●	博物館	■	税務署	●	野球場
●	港	●	水族館	●	発電所	●	展望台
●	料金所	●	図書館	■	裁判所		

付録



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
IC	IC	PA/JCT	PA/JCT (併設)		休憩所
スマート IC	スマートIC	¥	料金所		ハイウェイ情報ターミナル
SA	SA	スマート IC	スマートIC		ベビーコーナー
PA	PA	ガソリンスタンド	ガソリンスタンド		ドッグラン
JCT	JCT	レストラン	レストラン		障害者用トイレ
IC/JCT	IC/JCT (併設)	スナック	スナック		ATM
IC/SA	IC/SA (併設)	ショッピング	ショッピング		トイレ
IC/PA	IC/PA (併設)	オアシス	ハイウェイオアシス		
SA/JCT	SA/JCT (併設)	インフォメーション	インフォメーション		

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。



ソフトウェア使用許諾契約書

本製品をご使用前に必ずお読みください。

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」といいます。）および同梱品（併せて、以下、「本製品」といいます。）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「当社」といいます。）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」といいます。）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「本ソフトウェア」といいます。）が含まれております。本ソフトウェアは、コンピュータソフトウェア、それに関連する媒体、マニュアルその他の印刷物を含み、「オンライン」または電子文書を含むこともあります。

当社では、本製品をお客様がご使用になるに当たり、本製品をご使用を開始する前に、下記に示される「使用許諾契約書」をよく読まれたうえで、「使用許諾契約書」への同意をお願いしております。

お客様は、「使用許諾契約書」をお読みになり同意されるまでは、本製品をご使用になれません。

本製品をご使用になられた場合には、お客様は「使用許諾契約書」の各条項に同意されたものとみなされます。

本契約書の各条項に同意されない場合には、代金返還手続きを行いますので、梱包を解かれずに、本製品を直ちに購入店にご返品ください。

当該契約に違反するソフトウェアのいかなる除去、再生、解説、その他権限なき使用は厳格に禁止されます。



付録

【使用許諾契約書】

本ソフトウェアは、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるものではありません。

(1) 本ソフトウェア使用許諾および権利権限に関する

当社は本契約書によりお客様に以下の権利を許諾します。

- お客様は、本ソフトウェアを本システム上でのみ使用することができます。
- お客様は、本システム上への本ソフトウェアによるインストールおよび本システム上の本ソフトウェアを復元する以外の目的で使用することはできません。
- お客様は、本製品に付属するドキュメントの一部または全部を無断で複製することはできません。
- お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。但し、当該行為がこの制限にもかかわらず適用法によって明確に許されている範囲においてだけは許されるものとします。
- お客様は、本契約に基づいて、お客様の本ソフトウェアの使用権を第三者に恒久的に譲渡することができます。ただしの場合、お客様は複製物を保有することはできず、本契約書、本製品およびこれに付属するマニュアルその他のドキュメント類全てを譲渡し、かつ譲受人が本契約書の各条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがバージョンアップされている場合、譲渡は本ソフトウェアの以前のバージョンも全て含んだものでなければなりません。

(2) バージョンアップメディア

バージョンアップソフトウェア（本ソフトウェアの不具合対策、機能追加またはオペレーティングシステムのバージョンアップを含みますが、これに限りません。）が、読み出し専用メモリーや、CD-ROMのような媒体またはWebからのダウンロードやその他の手段で本システムとは別に当社によって提供され、かつ用途が「For Version up Purposes Only」または「For Recovery Purposes Only」となっている場合、お客様は、既存の本ソフトウェアのコピーと交換して、お客様自身の本システムにのみそのようなバージョンアップソフトウェアをインストールし、本契約書の各条項に従って使用することができます。

(3) 著作権

本ソフトウェア、付属のマニュアルなどの印刷物および本ソフトウェアの複製物についての権原および無体財産権は、当社またはソフトウェア供給者が有するものです。お客様は、本ソフトウェアに付属のマニュアルその他の印刷物を複製することはできません。本ソフトウェアを使ってアクセスされるコンテンツについての権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の財産であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。本契約のもとに特に規定されていない権利は全て当社およびソフトウェア供給者に留保されます。

(4) 保証期間および保証内容

- 当社は、本ソフトウェアが付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合にお買い上げ後90日間に限りお客様からの当社に対する文章による通知により、当社は、当社の基準に従って、代替品と交換致します。本ソフトウェアについてのいかなる默示の保証についても90日間に限ります。
- いかなる場合もソフトウェア供給者は、お客様に対して直接責任を負うものではありません。但し、本ソフトウェアの不具合が、事故、お客様の故意もしくは過失、誤用その他異常な条件下での使用によって生じた場合には、保証の責任を負いません。
- 上記に示した限定保証を除いては、本ソフトウェアはお客様に対して現状のまま提供されるものであり、明示たると默示たるとを問わず無体財産権についての非侵害保証、商品性の保証あるいは特定目的に対する適合性の保証など一切の保証をいたしません。本ソフトウェアの品質および動作についてのリスクはお客様が負うものとします。
- いかなる場合においても、当社およびソフトウェア供給者は、本ソフトウェアの頒布、使用または動作からお客様に生ずるいかなる他の損害（通常損害、特別損害、逸失利益、事業の中止、企業情報の損失、事業設備の損失その他の金銭的損害を含みますが、これに限定されません）に関して、250米ドルを超える分について一切責任を負わないものとします。

(5) 輸出規制

- 本ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用しての国外送信を含みます）はできないものといたします。
- お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国で製品化された物を含むことを認めるものとします。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規則ならびに、エンドユーザー、エンドユーザーによる使用、および輸出対象国に関する制限を含めた、アメリカ合衆国およびその他の政府機関による、本ソフトウェアに適用される全ての国内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。

(6) その他

- 本契約は、日本法を準拠法といたします。
- 本契約に基づき紛争が生じた場合、東京地方裁判所をその専属的な管轄裁判所といたします。
- 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上



付
録

VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICSの仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル1）、簡易図形情報（レベル2）の情報表示について

<問い合わせ先>

VICSセンター 運用管理室

電話受付時間 9:30～17:45（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

電話番号 0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になります）

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX受付時間 24時間

FAX番号（全国）03-3562-1719

- VICS関連商品の機能や使用方法について

- サービスエリア内の受信可否について

- 地図表示（レベル3）の情報表示について

<問い合わせ先>

JVCケンウッド

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846（ディーラーオプション専用窓口）

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。



付録

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することができます。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランプラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畠型サービス
車載機のモニタ上に地図上に情報を重畠表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。

ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。
また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。



付録



第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するとときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雜則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。



付録

本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

ディスクについて

本機で再生できるディスクメディア

本機では、下表「ディスク再生対応一覧表」で「○」が表示されているディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/WAV 再生
	CD-R	○	MP3/WMA/AAC/WAV 再生
	CD-RW	○	パケットライト非対応
	DTS-CD	×	—
	ビデオCD、 スーパービデオ CD	×	—
	フォトCD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	—
その他	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます

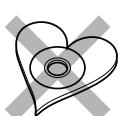
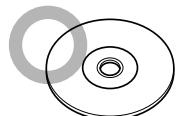
△：一部のみ再生できます

×：再生できません

- 本機で再生可能な音楽CDは  マークの入ったCDだけです。前記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWは再生できません(ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください)。
- その他、CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているディスクは引き込みない、取り出せないな

どの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれことがあります。本機の故障の原因となることもありますため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

結露について

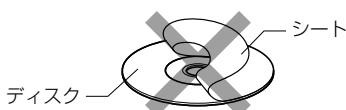
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

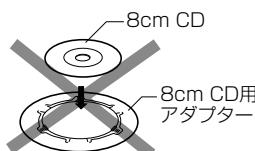
ディスク用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDアダプターは使用しないでください。

8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

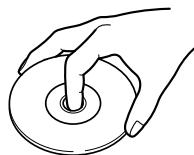


付
録

ディスクについて

ディスクの取り扱いについて

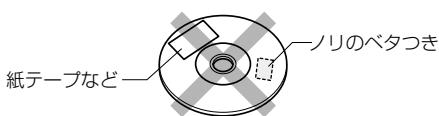
ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることができます。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意してください。詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

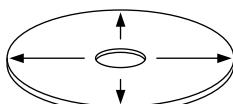
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特にCD-R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

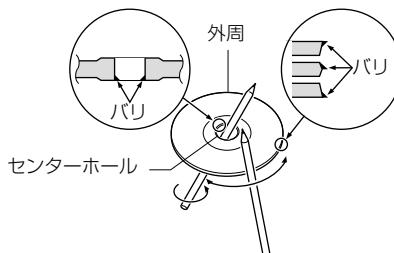
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。

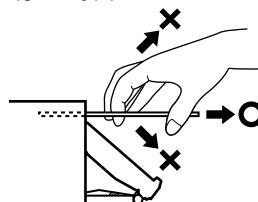
“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



付録

140

メディアおよびファイルについて

本機で再生できるファイル

	ファイル拡張子	音声形式	CD	USB	SD
オーディオ	.mp3	MP3	○	○	○
	.wma	WMA	○	○	○
	.m4a	AAC	○	○	○
	.wav	WAV	○	○	○
	.fla/.flac	FLAC	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

● .mp3ファイル

- フォーマット：MPEG 1/2 Audio Layer 3
- ビットレート：
32kbps～320 kbps (VBR対応)
- サンプリング周波数：
16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
- ジョイントステレオ：対応
- ID3タグ：
1.0(*¹)/ 1.1(*¹)/ 2.2(*²)/ 2.3(*²)/ 2.4(*²)

*¹:半角30文字、*²:半角128文字

● .wmaファイル

- フォーマット：
Windows Media Audio Standard L3 Profile
- ビットレート：32～320 kbps
- サンプリング周波数：
16/ 22.05/ 32/ 44.1/ 48kHz
- WMA-Tag：
全角/半角64文字 (Unicodeの2バイト文字)
※DRM/Professional/Lossless/Voiceは
非対応

● .m4aファイル

- フォーマット：
MPEG 2/4 AAC-LC HE-ACC V1
- ビットレート：32～320 kbps/VBR
- サンプリング周波数：
16/ 22.05/ 32/ 44.1/ 48kHz
- タグ：iTunes m4aメタデータ
※DRM/マルチチャンネルは非対応
iTunesで作成したAACファイルのみ
再生可能

● .wavファイル

- フォーマット：
RIFF waveform Audio Format
(Linear PCMのみ)
- ビット数：16 bit
- サンプリング周波数：44.1 kHz
- チャンネル：モノラル/ステレオ
- タグ：RIFF LISTチャンク
※DRM/マルチチャンネルは非対応

● .fla/.flacファイル

- フォーマット：flacフォーマット
- 圧縮レベル：0/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7/ 8
- ビット数/サンプル：16bit
- サンプリング周波数：
8/ 16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
- チャンネル：モノラル/ステレオ
- タグ：Vorbis Commentに対応



- オーディオファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。
- CDについては139ページの「ディスクについて」もお読みください。



付
録

メディアおよびファイルについて

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。

- USB1.1 / 2.0
- MSC (USBマスストレージクラス) 対応品
- 最大消費電流：1A以下 (USBケーブル接続時)

消費電流の大きい機器をUSBハブに接続すると動作しない場合があります。この場合はUSBケーブルに直接接続してください。

上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。

また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。

使用できるSDカード

本機で使用できるSDカードの条件は次のとおりです。

- SD/SDHC仕様準拠

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(3)ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 1 フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器およびSDカードのフォーマット

本機で使用できるUSB機器およびSDカードは、以下のフォーマットです。

- FAT32/FAT16

ただし、本機で再生できるUSB機器およびSDカードには以下の制限があります。

- 1 フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：9999

(3) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、半角カタカナ、および全角文字で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。

次の文字はファイル名には使用できません。

¥、＼、／、：、＊、？、”、＜、＞、|

また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(4) タグ情報について

本機で表示できるタグ情報の表示できる文字種は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。

(5) メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

また、次のオーディオファイルの再生に移るまで時間がかかるったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(6) 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。

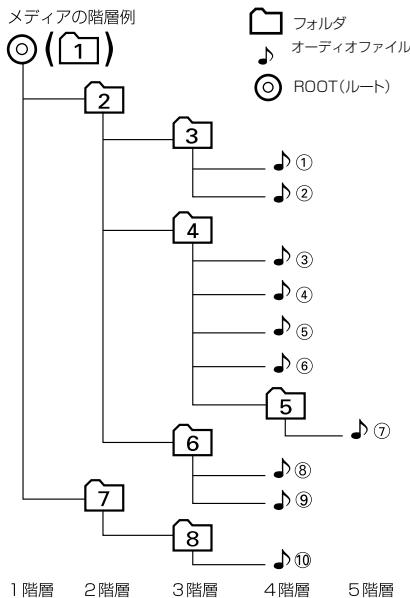
個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

(7) オーディオファイルを再生する順番

再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器およびSDカードではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定することができます。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようにになります。



(8) ご使用上の注意事項

- 本機で再生するオーディオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- USB機器やSDカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- SDカード、またはUSB機器内のオーディオファイルは、破損する場合があります。ファイルが失われることによる損害につきましては、弊社では一切補償いたしません。



付録

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	暗証番号設定されている。	設定した暗証番号を入力してください(☞ P15)。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	—	画面の明るさを調整してください(☞ P112)。
バックモニターに切り替わらない。	バックモニター機能の設定が“Off”になっている。	バックモニター機能の設定を“On”にしてください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	音量を適正に調整してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。



付録

ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
	市街地図が表示可能なスケールに なっていない。	市街地図が表示されるのは、50m以下のスケールです。
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは100m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください(☞ P74)。
経由地を設定できない。	すでに4か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください(☞ P67)。
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているとき に、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが 同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
住所検索で番地を指定できない。 地域によっては番地を指定できない場合がある。		付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。 履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	ルート探索していない場所は記憶されません。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せず にシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。 タイヤを交換した。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。 タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください(☞ P118)。 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図(50m~10mスケール)を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICSの地図表示情報(レベル3)が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報(レベル3)を表示できるのは、10m~1km(一般道は10m~500m、一般道の駐車場情報は10m~200m)のスケールです。
—		VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。
夜の地図色が表示されない。	“昼色に固定”に設定されている。	自動選局に切り替えてください(☞ P80)。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が“しない”に設定されている。	“イルミに連動”に設定してください(☞ P35)。 ルート案内の音声出力を“する”に設定してください(☞ P65)。
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地】を押してナビモードに切り替えてください(☞ P22)。
画面がオフになっている。		【現在地】を押すか、画面にタッチしてください(☞ P25)。
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状況により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。



付
録



故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください(☞ P59)。
ルートメニューの項目が選択 ルートが探索されていない。 できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に選択できます。
センサー学習が完了しない。 車速パルスの設定が正しくない。	車速パルスの設定が正しくない。	車種により“アナログ”または“デジタル”に設定する場合があります。
ルート案内中に到達予想時刻 と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください(☞ P104)。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	【▲】(オープンキー)を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	【▲】(オープンキー)を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください(☞ P90)。
ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
トランクなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。



付
録

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ディスクフォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるディスクフォーマットを確認してください(☞ P139)。
ファイルに拡張子が付いてない。		正しい拡張子を付けてください(☞ P141)。

ワンセグ

症状	考えられる原因	対処方法
音声は出るが映像が映らない。 走行している。		走行中は映像を見ることができません。
映像が乱れる。映像が止まる。 障害物や放送局からの距離などによって、見通しのいい場所に移動してください。 音声が途切れる。		
受信できない。	受信可能な放送エリア外にいる。	受信可能な放送のエリア内でご使用ください。
	送信チャンネル変更(リパック)が行なわれた。	放送局をプリセットしなおしてください(☞ P88)。

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	iPod接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブルを力ちと音がするまでしっかりと接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPodが異常状態になっている。	<ul style="list-style-type: none">● iPodメニューに表示されるリセットではなく、iPod本体のリセットを行ってください。● iPodを本機から取り外し、iPodの電源を入れなおしてください。
音が歪む。	iPodのEQ機能(イコライザ機能)がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。 USBハブを介して接続している。	本機の電源を入れてください。 充電するときはUSBハブを使用せずに直接接続してください。
本機に接続すると、iPodの操作ができなくなる。	iPodモードが本機でiPodを操作するモードになっている。	iPodモードを切り替えてください(☞ P101)。



付録



故障かなと思ったら

USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続してください。
	USB接続ケーブル1本に対してUSBハブを2台以上接続している。	USB接続ケーブル1本に対してUSBハブを2台以上接続してUSB機器を接続すると、本機で再生することができません。 USBハブを1台にして接続しなおしてください。
	複数のUSB機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	USBデバイス切替で再生したいデバイスに切り替えてください(☞ P97)。
USB機器 やSDカード内のオーディオファイルが再生できない。	オーディオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください(☞ P141)。
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、＼、／、：、＊、？、“、＜、＞、 ファイル名を変更してください。
	SDXCカードを再生しようとしている。	本機では、SDまたはSDHCカードのみ使用できます。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 サービスセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 番号を再入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は サービスセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ワイヤレスアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
GPSアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
車速パルスに異常があります。 サービスセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。



付録

ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none">● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。● 探索条件を「一般」以外にしてください。

VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。またはVICS放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが読めません。 ETCカードが読めません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none">● 差し込まれたカードがETCカードかどうか確認してください。● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。● カードの金属端子面をきれいにぶいてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。(01)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください

AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません	再生できるファイルはMP3/WMA/AAC/WAV/FLACです。（ディスクはFLAC再生できません）
ファイルが再生できません	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

AV (Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。



付
録

用語解説

GPS

GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国国防総省が開発運用しているシステムで、3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信して、現在の位置を知ることができます。

VICS

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。事故の情報や渋滞状況、駐車場の空き情報などを表示することができます。

オートリルート

ルート案内中に、ドライブルートから外れてしまったとき、自動的にルートを探す機能です。

車速パルス

自動車から出力される信号で、ナビは走行距離の計測に利用しています。

また、車速パルスと本機に内蔵されているジャイロスコープによって、トンネル等のGPS衛星からの電波を受信できないところでも測位できるようになっています。

自車

本機を取り付けているお客様のお車のことです。

付録

スマート IC

SA/PAやバス停などに設置されたETCのインターチェンジゲートです。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を算出することです。

ルート

目的地と経由地の設定に従って本機が探索した道筋です。ドライブルートは、ユーザーが編集することはできません。

マップマッチング

測位誤差があっても、自車位置が道路から外れにくくする処理です。

目的地 / 経由地

本機では、5か所までの行き先を設定して、ルート探索／ルート案内できます。5か所の行き先のうち、最後に行く場所を目的地といいます。

経由地は、設定した順に、経由地1、経由地2・・・経由地4となり、この順に通るようにルート探索されます。

ランドマーク

お店や施設などを、地図上で見やすくするためにマークで表した目印です。

主な仕様

ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	パラレル12チャンネル
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信感度	-130dBm以下
VICS	FM多重(内蔵)

モニター部

画面サイズ	7.0V型ワイド 156.6(幅) × 81.6(高さ) × 176.6(対角) mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源(照明方式)	LEDバックライト方式

オーディオ部

最大出力	50W×4
定格出力	26W×4 (4Ω, 1kHz, 10%THD)
スピーカーインピーダンス	4~8Ω
バックモニター専用 映像入力	映像入力レベル 1Vp-p/75Ω
ビデオ入力(iPodビデオ 専用)	映像出力レベル 1Vp-p/75Ω



地上デジタルチューナー部

付録

受信方式	地上デジタルテレビ1セグメント部分受信サービス(ワンセグ)
受信チャンネル	UHF 13~62ch

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (0.1MHz)
実用感度(S/N:30dB)	8dBf (0.7μV/75Ω)

AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)
実用感度(S/N:20dB)	30dBμV



主な仕様

USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	1A

SDカード部

対応SD	SD/SDHC (最大32GB)
ファイルシステム	FAT16/32

CD部

対応ディスク	CD-DA、CD-R/-RW
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)
S/N比	80dB (IHF-A使用)
ステレオセパレーション	78dB (20kHz L.P.F.使用)

対応メディア

CD-DA	8cmCD非対応
CD	MP3、WMA、AAC、WAV
USB	音声 MP3、WMA、AAC、FLAC、WAV
SD	音声 MP3、WMA、AAC、FLAC、WAV

電源/寸法/重量

電源電圧	14.4V (11V~16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ +60°C
本体	外形寸法 (W×H×D) 206mm×104mm×175mm
	• NMCK-W65D: 180mm×100mm×185mm
GPSアンテナ	埋込寸法 (W×H×D) 178mm×100mm×160mm
	重量 • NMCK-W65D: 2750g • NMCK-D65D: 2700g
	外形寸法 (W×H×D) 36mm×12.8mm×33mm
ケーブル長	3.5m
	重量 85g

TVアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長(アンテナケーブル)	4.0m×1
アンテナ部(エレメント外形寸法)	117.5mm×86mm
重量(ケーブル含む)	約40g



付録

保証とアフターサービス

保証について

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(☞ P144) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。



付
録

キーワードインデックス



数字

2次元バーコード	51
3Dヘディングアップ	27
3モードカメラ	122

アルファベット

A

AVソース画面	22
---------	----

C

CD	91
----	----

D

DTA	107
-----	-----

E

ECO情報	38
ECOメニュー	39
ETC車載器	118
ETCの設定	121
ETCレーンの表示	63

F

FM多重放送	76
--------	----

G

GPS	118, 128
-----	----------

I

iPodの再生	99
iPodの接続/取り外し	98

Q

QRコード	51
-------	----

S

SDカード	142
SDカードの出し入れ	95

U

USB機器	142
USBの接続/取り外し	94
USBハブ	94, 98

V

VICS情報	76
VICSのマーク	77

かな

あ

アスペクト（画面表示サイズの変更）	102
暗証番号の設定	15
案内警告音	65

い

行き先の削除	67
行き先の順番変更	66

え

映像画面/消灯画面の時計	112
エコ情報	38
エリアモード (TUNER)	83
エリアモード (ワンセグ)	87

お

オートリルート	59
オープンキー	19, 21
音声案内の音量	59

か

画面の明るさ	112
画面のオン/オフ	25
画面表示サイズの変更	102
簡易AV表示	33
簡易図形型情報	79

き

規制情報	78
規制情報表示 (ハイウェイモード)	61

く

クイックメニュー 26, 33

け

経由地 52
経由地の削除 67
経由地の順番変更 66
ケーブルの接続情報 118
現在地図画面 22, 26
現在地の修正 37
検索履歴の削除 49

こ

広域ボタン 26
交差点案内図の表示 62
高速道分岐イラストの表示 63
高速道路でのルート案内 61
交通情報 (TUNER) 83, 85
交通情報表示 (ハイウェイモード) 61
コンパスボタン 26

さ

再生できるディスク 139
サウンド設定 104

し

自車マーク (地図) 26, 34
システム設定 112
自宅に帰る 40, 41
自宅の登録 40
自動選局 (FM VICS局) 80
字幕 (ワンセグ) 87
シミュレーション 57
車速パルス 118
車両タイプ 105
ジャンル検索 41, 45
住所検索 41, 44
渋滞情報 78
周辺検索 41
受信バンド (TUNER) 83
詳細ボタン 26
情報・設定メニュー 23

ショートカットボタン 33, 113

す

スターーボリューム 112
スマートICを利用した探索 55

せ

セキュリティインジケータ 113
センサー学習 118, 119

そ

走行軌跡の表示 34
走行軌跡を消去 34
走行スピードと音量の連動 112
操作音の出力 113
操作ボタン 32
ソース切替画面 23, 82
ソースレベル 110

ち

地図色の設定 35
地図記号 132
地図の縮尺 28
地図表示型情報 77
地点情報 29
地点情報の表示 30
地点登録 68
チャンネルリスト (ワンセグ) 87, 89
駐車場情報 78



付
録

て

ディスクの出し入れ 90
デモ走行 57
電源オン/オフ 14
電話番号検索 47

キーワードインデックス

と

到着予想時刻/距離	60
登録地点検索	41, 48
登録地点情報	69
登録地点の編集	70
登録地点表示	34
登録地点の設定	36
時計	26
時計表示	17

な

ナビ音声案内時のAV音量	112
ナビの音量調整	59

ぬ

ぬけみちの表示	34
---------	----

の

ノースアップ	27
--------	----

は

パーキング	118
パーキング検出コード	118
バージョン情報（ソフトウェア）	119
ハイウェイサウンド	111
ハイウェイモード画面	61
バックモニター	122
バランス/フェダー	104
番号検索	41

ふ

フェリーを利用した探索	55
プリセットイコライザー	109
プリセットボタン (TUNER)	83, 84
プリセットボタン (ワンセグ)	87
プリセットモード (TUNER)	83
プリセットモード切替 (ワンセグ)	87
フロントパネルの角度調整	25

へ

ヘディングアップ	27
----------	----

ほ

ポイントスクロール	29
放送局のプリセット (TUNER)	84
方面看板	26, 65
ポジション調整	108
ボタンの操作音	113

ま

マップクリップ	51
マップコード検索	47
マップマッチング	128
まっくるコード検索	41, 50

め

名称検索	41, 42
------	--------

も

目的地	52
目的地検索メニュー	23, 41
目的地の削除	67
目的地付近の地図表示	56
文字型情報	79
文字の入力	75

い

ユーザーアイコライザー	109
ユーザー設定の初期化	113, 117
優先する探索条件	55
郵便番号検索	47

ら

ランドマーク	26
ランドマーク情報の表示	31
ランドマーク表示	34
ランドマーク表示の設定	35

り

リスニングポジション	107
リバース	118
リバース検出コード	118
リバース時のAV音量	112
履歴検索	41, 48

る

ルート案内	60
ルート案内の音声出力	65
ルート案内の開始	52
ルート案内の終了	58
ルート案内方法の設定	65
ルート全体	56
ルート選択	52, 58
ルート探索方法の設定	55
ルートの再探索	58
ルートの種類	52

れ

レーン情報	26, 65
レーン情報の表示	60
連続スクロール	29

わ

ワンセグ	86
ワンセグ操作ボタン	87
ワンセグの受信	86



付
録

「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

iTunes is a trademark of Apple Inc.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

渋滞ぬけみちデータとして以下の情報を元に作成されています。

・株式会社昭文社ぬけみちデータ

渋滞ぬけみちデータ、まっぷるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。



MapFan、『MapFan.net』はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICSは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

ETCは一般財団法人ITSサービス高度化推進機構の登録商標です。